

## 多摩防水技研株式会社

本 社 / 〒193-0803 東京都八王子市檜原町1457-1  
【自社ブランド製品/材料 各種お問い合わせ販売窓口】  
URL: <http://www.tamabou.com>

TEL: 042(686)1061(代)      FAX: 042(686)1062  
TEL: 042(686)1672      FAX: 042(686)1673  
(詳細については、ホームページでご確認ください。)

(19.11 月現在)  
19.11.150 TAM

# TAMABOU®

ポリウレタ樹脂系超速硬化スプレー防水システム

## リムクイック®工法

多摩防水技研株式会社

TAMABOU®は、エコで災害に強い街づくりを目指します



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS  
世界を変えるための17の目標



私たちは、ISO26000の実践に努めます

ポリウレタ樹脂系超速硬化スプレー防水システム

リムクイック® 工法 長期保証の根拠

優れた耐久性

ポリウレタ樹脂系超速硬化スプレー材は、可塑剤がほとんど含まれていないため、経年劣化が従来の高伸張形ウレタン防水材に比べ、各段に少ない材料です。高強度でありながら伸張性も高くクラックへの追従性にも優れ、長期にわたる耐久性が担保できます。長期保証では、表面保護材のトップコートも2度塗りし、さらなる耐候性の向上を図ります。

品質管理の徹底

膜厚計を使う膜厚管理システムを導入しています。膜厚管理が困難な、コーナー部や機械台の下などスプレー防水が困難な部位には、ポリウレタ樹脂系超速硬化スプレー材にて作成した、当社独自のポリウレタ樹脂系のリムシートを使用します。リムシートは、ロボットにより作成された膜厚が管理されたシートです。リムクイックやリムシートと取り合う部分も、ポリウレタのシーリング材や接着剤です。これらの組み合わせにより高い防水性能を有します。施工に当たっては、当社独自の施工管理記録と施工経過の報告書を提出いたします。必要であれば、経年の劣化を測定し、長期防水性を管理・保証します。

防水工事实績からの提案力

当社は、スーパーゼネコンなどの下で30年以上防水工事を手掛けた、多能工化した会社です。工事経験に基づく工法のノウハウを蓄積しております。合わせて、15年近く、エコを提案できる企業になるための研究を実施しながら積み重ねてきました。一つの課題に対し、多面的な視点からの提案を考えます。お客様のニーズに合わせ、最適な工法の提案を考えます。

人手不足対策

人手不足の時代に入ります。当社の防水は機械を使うスプレーによる防水です。機械による施工の為、大面積なら400㎡/日の施工が可能です。また、防水端部などもリムシートを使う工法のため、外部足場を立てなくても施工可能になりました。全体で考えると、多くの手間を省くことが可能となりました。

エコ(遮熱・剥落防止・対火災・緑化)

**遮熱**: 防水後に表面保護材のトップコートを使用します。遮熱タイプのトップコートは10度近い遮熱効果の差が生まれます。**剥落防止**: 材料は剥落防止工事に使用できる踏み抜き試験をクリアする素材です。このため、拘束性の少ないパラペット部などの方が一地震の時に心配な部位も高強度防水材で覆うことにより、不安を軽減することができます。**対火災**: リムクイック15は、自己消火性に優れた材料です。壁面部や地下駐車場などにも使用し、延焼を少なくします。**緑化**: 強度に優れ、防水性の向上により、屋上緑化に貢献します。

長寿命化

建物や建造物などのインフラの老朽化対策が、大きな課題になっています。これらの寿命を伸ばすことは、財政上の問題だけでなく、炭酸ガスの発生を抑え最大のエコと言えます。高齢化していく建物の所有者や住む人にとって、LCC(建物のライフサイクルコスト)を考えた時、大きいコスト削減につながります。自社開発の工法は、建物の維持管理において長寿命化とLCCのコスト削減に大きく貢献する工法です。

リムクイック工法 P.1

工法分類一覧 P.7

長期保証工法 P.9

汎用工法 P.13

RC・TK 通気密着工法 P.19

RC・TS 通気緩衝工法 P.21

RC・M 密着工法 P.25

製品情報 P.27

性能一覧 P.29

注意事項 P.39

リムクイック工法 P.1

工法分類一覧 P.7

長期保証工法 P.9

汎用工法 P.13

RC・TK 通気密着工法 P.19

RC・TS 通気緩衝工法 P.21

RC・M 密着工法 P.25

製品情報 P.27

性能一覧 P.29

注意事項 P.39

## ポリウレア樹脂系超速硬化スプレー防水システム

# リムクイック® 工法

リムクイック工法は、自社で選定した材料を用い、30年以上の工事の経験を活かして、長期保証可能な防水工事を責任を持って提供できるシステムです。



## ポリウレア樹脂系超速硬化スプレー防水システム

# リムクイック® とは



リムクイックは、ポリウレアスプレー\*同様の A 剤 (ポリイソシアネート) を B 剤 (80% 程度のポリアミンと 20% 程度のポリオール) との反応によって形成されます。ポリオールが 2 割程あることによって、100% に近いポリウレア樹脂には無い硬化性となり、濡れ性が向上し、プライマーや層間の接着力が確保されます。また消泡性も向上し、内包エアの少ない塗膜となります。

リムクイックはウレタン塗膜防水材の大部分シェアを占める主剤 (A 剤) のイソシアネート含有量が、3~4% の手塗りタイプの JIS A 6021 高伸張形ウレタン塗膜防水材との誤認を防ぐため、ポリウレア樹脂系超速硬化防水材と命名しました。

※ポリウレアスプレーは、A 剤 (MDI モノマー含有率が約 40~50% のイソシアネートプレポリマー) と B 剤 (100% のポリアミン) との反応によって形成されます。

[日本ポリウレアスプレー協会の定義]  
イソシアネート+ポリアミン=ウレア  
イソシアネート+ポリオール=ウレタン

## 短時間硬化 大面積の仕上げが可能

超速硬化スプレー防水の最大の特徴、それは超速硬化が示す通り、短時間で硬化することです。5 分後には歩行も可能です。必要な材料はトラックにて持ち運び、施工現場には圧送することで屋上などでも施工が可能となり、機械による施工のため最大 400 m<sup>2</sup> 近くの面積を 1 日で施工できます。



## 機械によるミキシングと厚み管理

材料の温度や圧力を一定に管理してミキシングします。施工時の現場の気温に左右されにくく、物性品質が担保されます。厚み管理システムもあり、防水品質管理が徹底できます。このことにより高品質な物性が現場にて発現し、長寿命防水を可能にしています。



※ミキシング条件をエクセルデータでも管理可能。

## リムシート併用による無足場工法

防水を施工する屋上などにおいて、笠木などの端部をリムシートで納めることが可能です。仮設足場の経費が削減され、足場をかける時間も省略できる可能性が大きいです。短期間の防水施工がさらに可能になります。



## 優れた耐久性と強靱性

低温域から高温域まで、耐久性に優れたウレア樹脂による防水です。ゴム弾性があり引張強度も強く伸び率が大きい素材です。引裂き強度も強く、クラックに対する追従性に優れ、剥落防止工事も可能。ほとんど加水分解することもなく長寿命です。



## 立面など自在な納まり性能

雪が降り積もるように積層して硬化します。このため施工面全面にジョイントのないシームレスな防水層が形成できます。雨水の侵入箇所になりやすい防水層の端末に、押さえ金物を使用しない納まりとなり、防水層の信頼性が一層向上します。



※50年近く経過したRCの機械室

## 安全性とエコロジー

フォスターを取得した材料です。溶剤や特定化学物質を含有していません。施工時に火気も一切使用しません。安全安心な材料と施工方法です。自己消火性に優れた材料もあります。耐用年数経過後は、オーバーレイによる塗り重ねが可能で改修更新性に優れます。ライフサイクルコストを考慮すれば、とてもエコロジーです。



自己消火性のあるリムクイック15  
トップコートは焦げるが延焼していない

#### 長期保証対応仕様

分類	仕様名	下地種類	部位	平均膜厚※	最低膜厚	最長保証年数
通気密着工法	RC-TK30	コンクリート	床面	3.0mm	2.7mm	20年
通気緩衝工法	RC-TS30			3.0mm	2.7mm	20年
	RC-TS20L			2.0mm	1.8mm	15年
密着工法	RC-M30			3.0mm	2.7mm	15年
密着工法	RC-M20Q		立上り面	2.0mm	1.8mm	20年

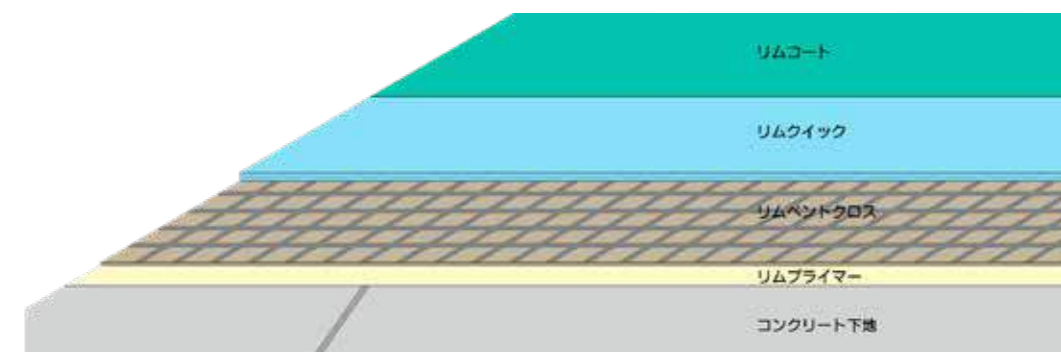
※RC:コンクリート TK:通気密着 TS:通気緩衝 M:密着

#### 汎用仕様

分類	仕様名	下地種類	部位	平均膜厚	最長保証年数
通気緩衝工法	RC-TS20R	コンクリート	床面	2.0mm	10年
密着工法	RC-M20	コンクリート	床面	2.0mm	10年
	ST-M20	金属屋根		2.0mm	10年
	SL-M20	スレート屋根		2.0mm	10年
	RCV-M20	塩ビシート		2.0mm	10年
	HL-M30P	コンクリート		3.0mm	10年
	HL-M30S	コンクリート	3.0mm	10年	
密着工法	RC-M20	コンクリート	立上り面	2.0mm	10年

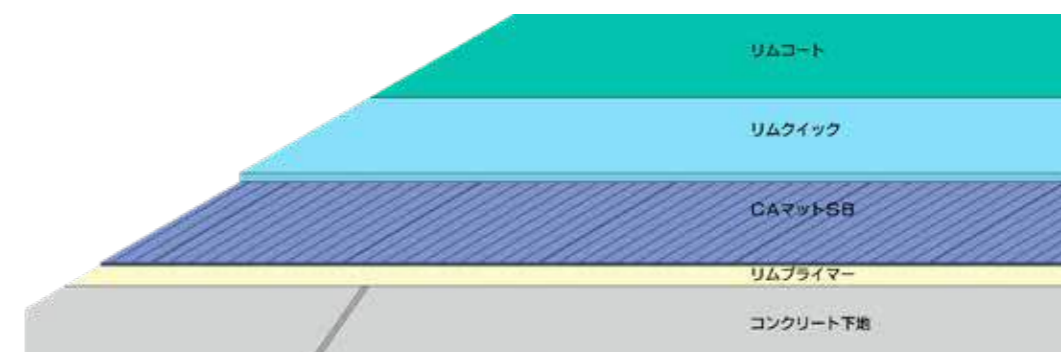
## ■リムクイック工法の種類

### 通気密着工法 RC-TK工法



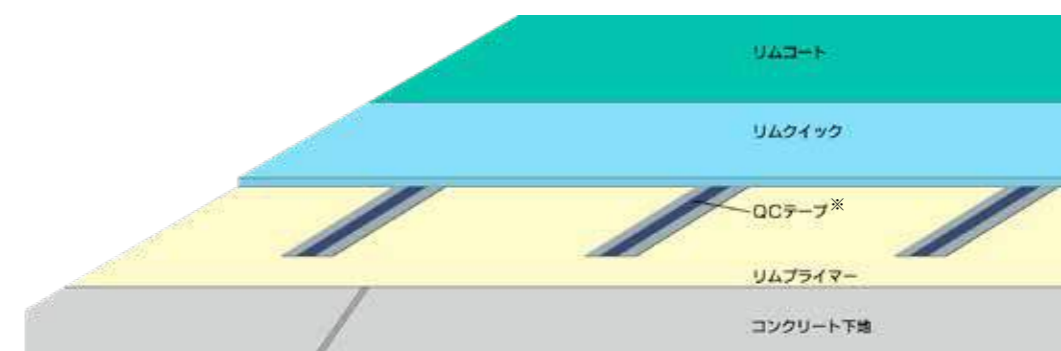
アルミ箔に規則的にあいた穴の部分でウレタン防水材が下地に密着し、格子状のアルミ箔の部分で通気させる粘着補強布です。穴のあいた部分は、コンクリート下地との密着工法となるため、せん断強度に優れた重歩行に対応できる強靱な通気工法です。  
[非破壊膜厚検査対応]

### 通気緩衝工法 RC-TS工法



ポリエステル不織布と粘着ブチルから構成される通気緩衝工法シートです。表層の特殊フィルムは十分な撥水効果があり、施工中の降雨の影響を受けにくくなります。不織布の柔軟性と粘着ブチルの接着力により各種下地になじみやすく、下地追従性、通気性に優れたウレタン塗膜防水工法を形成します。

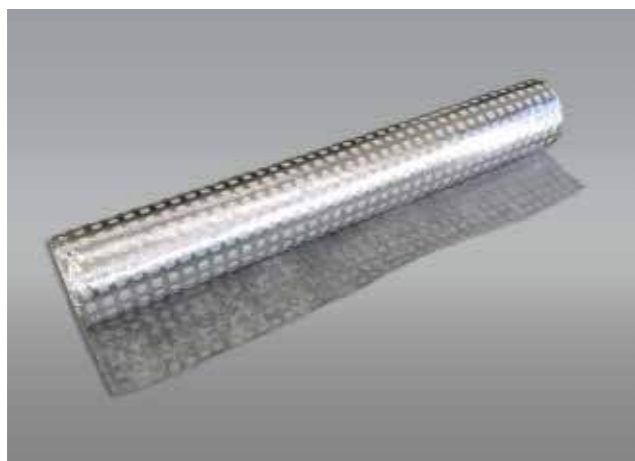
### 密着工法 RC-M工法



下地コンクリートやモルタルに直接リムクイック防水材を吹き付ける工法です。リムクイックは優れた塗膜性能を有しており、下地の挙動に対する追従性能及び耐候性能も高く、躯体を完全に保護します。  
[※長期保証においては、QCテープを併用することで、非破壊膜厚検査対応可能]

## ■ リムクイック工法の種類と主用品

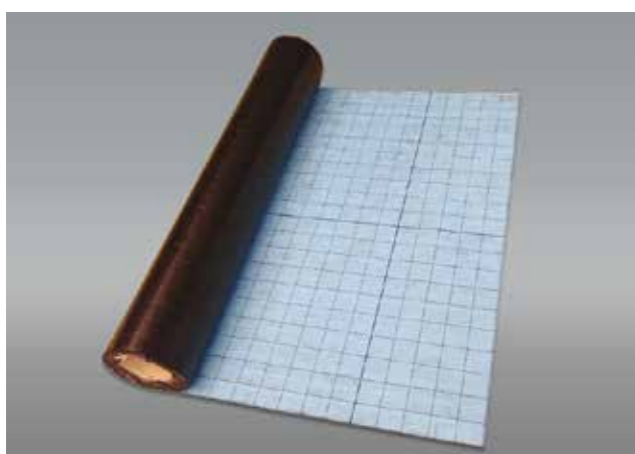
リムベントクロス



リムベントクロス納まり



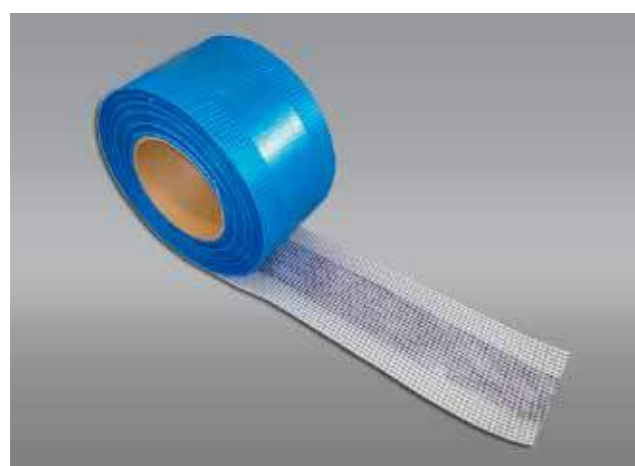
CAマットSB



CAマットSB納まり



QCテープ



QCテープ納まり



## ■ 膜厚管理システム

通気密着工法 - リムベントクロス使用例



通気緩衝工法 - CAマットSB使用例



密着工法 - 品質管理 (QC) テープ使用例



※平場に使用



※立上りに使用

# リムクイック®

\*吹付け施工時の厚みのバラツキに配慮した最低膜厚基準の工法です。

## ポリウレア樹脂系超速硬化スプレー防水システム

### 通気密着工法 RC-TK30:最長20年保証

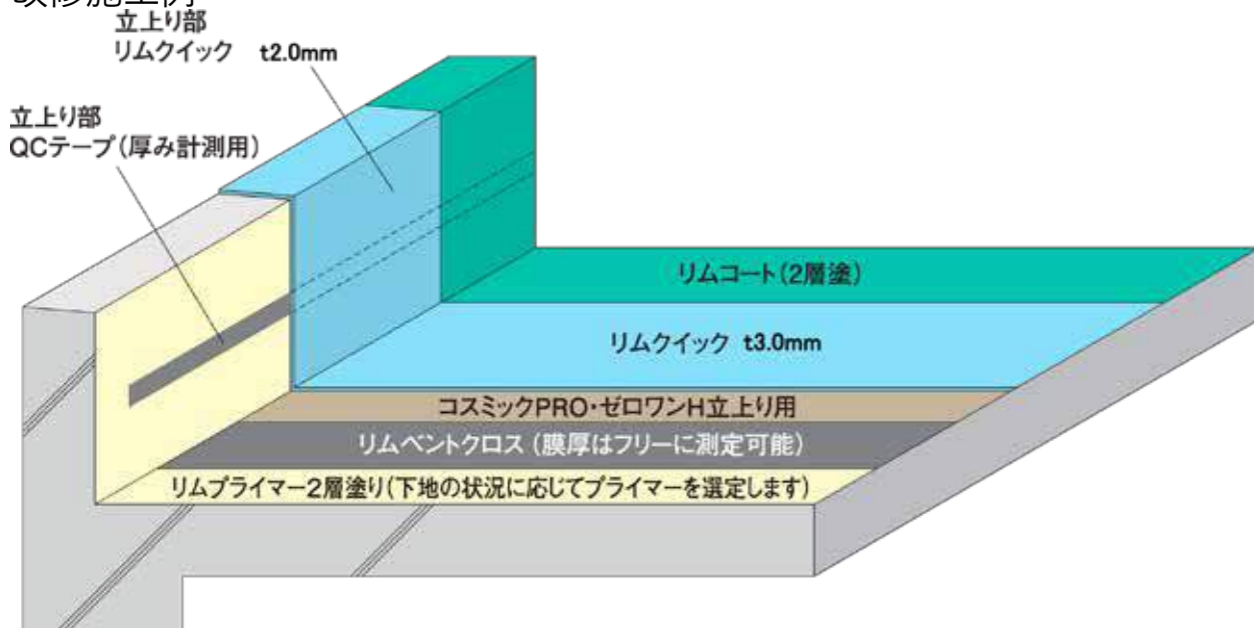
- ・下地水分を連通したリムベントクロスを通して脱気筒により排出し防水層の膨れを抑制します。
- ・リムベントクロスのアルミ箔シート(ポリエステル補強布付)により施工中や施工後に非破壊にて任意に厚み測定が可能です。施工中は測定しながらその場で増し吹きすることが可能になりました。
- ・リムベントクロスの開孔部は、下地と密着するため、一般的な通気緩衝シートと異なり、下地との接着力や剪断力が確保されます。(重歩行対応)
- ・下層の高伸張形ゼロワンHと、上層の高強度形のリムクイックの2層構造により、下地クラックに対し、高い追従性と強度を発揮します。
- ・トップコートの劣化要因である可塑剤含有量が極めて少ないリムクイックに対し、トップコートを2層施すことで、20年以上の長期耐久性を示します。

RC-TK30 (単位: kg/m<sup>2</sup>)

工程	仕様	平面部	立上り部
下地処理	下地の状況に応じて対応		
プライマー層	リムプライマー①	0.15	0.15
	リムプライマー②	0.15	0.15
脱気装置	脱気筒設置	1箇所/50~100m <sup>2</sup>	
通気緩衝材	アルミ箔入り密着通気クロス・QCテープ	リムベントクロス1.03m/m <sup>2</sup>	QCテープ1m/m
目止め層	コスミックPRO・ゼロワンH立上り用	0.8	-
防水層	リムクイック	3.0	2.0
	リムコートHUV① 1層目	0.15	0.15
トップコート	リムコートHUV② 2層目	0.15	0.15
	リムコートHUV② 2層目	0.15	0.15
平均膜厚	渦電流式膜厚計	3.0mm	2.0mm
最低膜厚	渦電流式膜厚計	2.7mm	1.8mm

\*下地の状況によりプライマーを選択します  
\*脱気筒は50~100m<sup>2</sup>毎に設けます

### 改修施工例



### 通気緩衝工法 RC-TS30:最長20年保証

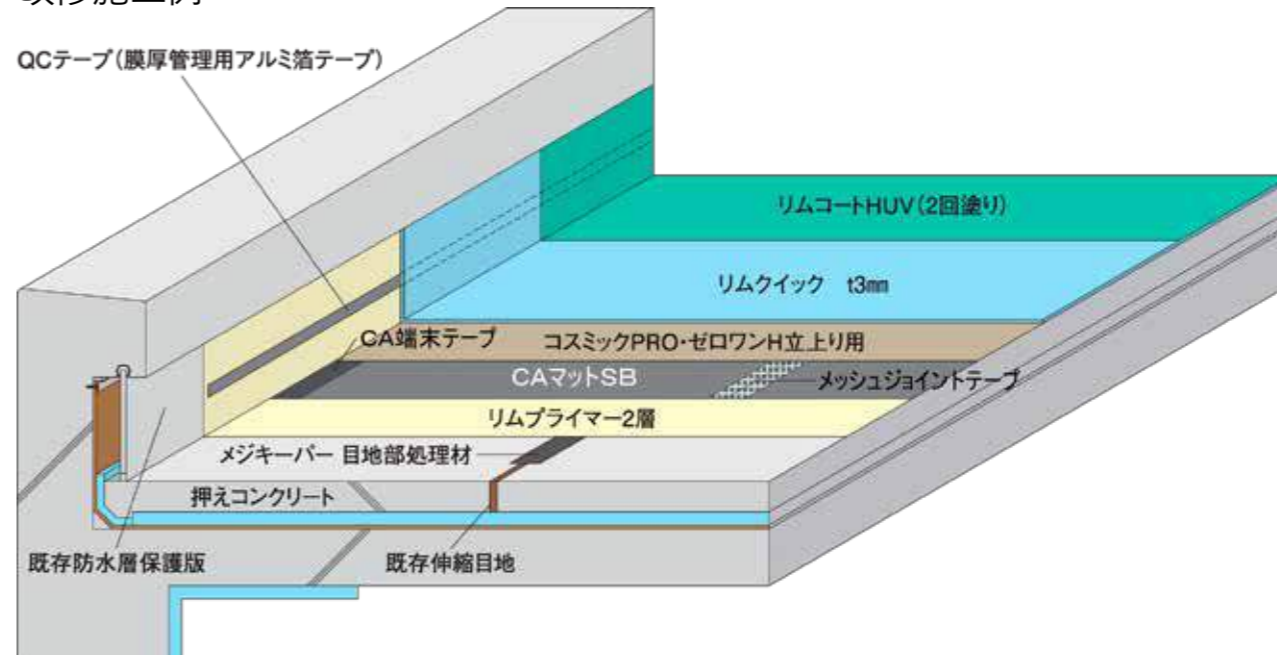
- ・防水押えコンクリートのある一般屋上向けの改修工法です。
- ・通気シートを通して防水押えコンクリートに含まれる水分を脱気筒により脱気し防水層の膨れを抑制します。  
\*脱気筒を1か所/50~100m<sup>2</sup>設ける。
- ・シート継手部は厚み計測用QCテープを貼り、厚み計測を行い厚さ3.0mmで20年保証としました。
- ・下地と接する部分に通気シート(プチル自着タイプ)を用い、下地に含まれる水分による防水層の膨れを低減し、下地収縮による挙動を緩衝する働きをします。
- ・通気シート表層の遮水フィルムにより施工途中の降雨による影響は受けません。

RC-TS30 (単位: kg/m<sup>2</sup>)

工程	仕様	平面部	立上り部
下地処理	下地の状況に応じて対応		
プライマー層	リムプライマー①	0.15	0.15
	リムプライマー②	0.15	0.15
エキスパンション目地処理 脱気装置	別途:目地処理例として目地キーパー SUS脱気筒を設置します		
通気緩衝材	CAマットSB t0.7・1.05	リムベントクロス1.03m/m <sup>2</sup>	QCテープ1m/m
防水層	リムクイック	3.0	2.0
トップコート	リムコートHUV① 1層目	0.15	0.15
	リムコートHUV② 2層目	0.15	0.15
平均膜厚	渦電流式膜厚計	3.0mm	2.0mm
最低膜厚	渦電流式膜厚計	2.7mm	1.8mm

\*下地の状況によりプライマーを選択します  
\*脱気筒は50~100m<sup>2</sup>毎に設けます

### 改修施工例



リムクイック工法 P.1

リムクイック工法  
工法分類一覧 P.7

長期保証工法  
リムクイック工法 P.9

リムクイック工法  
汎用工法 P.13

通気密着工法  
RC-TK  
納まり図 P.19

通気緩衝工法  
RC-TS  
納まり図 P.21

密着工法  
RC-M  
納まり図 P.25

製品情報 P.27

性能一覧  
商品 P.29

注意事項 P.39

リムクイック工法 P.1

リムクイック工法  
工法分類一覧 P.7

長期保証工法  
リムクイック工法 P.9

リムクイック工法  
汎用工法 P.13

通気密着工法  
RC-TK  
納まり図 P.19

通気緩衝工法  
RC-TS  
納まり図 P.21

密着工法  
RC-M  
納まり図 P.25

製品情報 P.27

性能一覧  
商品 P.29

注意事項 P.39

# リムクイック®

\*吹付け施工時の厚みのバラツキに配慮した最低膜厚基準の工法です。

## ポリウレア樹脂系超速硬化スプレー防水システム

### 通気緩衝工法 RC-TS20L:最長15年保証

- ・防水押えコンクリートのある一般屋上向けの改修工法です。
- ・通気シートを通して防水押えコンクリートに含まれる水分を脱気筒により脱気し防水層の膨れを抑制します。  
\*脱気筒を1か所/50~100㎡設ける。
- ・シート継手部は厚み計測用QCテープを貼り、厚み計測を行い厚さ平均2.0mmで15年保証としました。
- ・下地と接する部分に通気シート（ブチル自着タイプ）を用い、下地に含まれる水分による防水層の膨れを低減し、下地収縮による挙動を緩衝する働きをします。
- ・通気シート表層の遮水フィルムにより施工途中の降雨による影響は受けません。

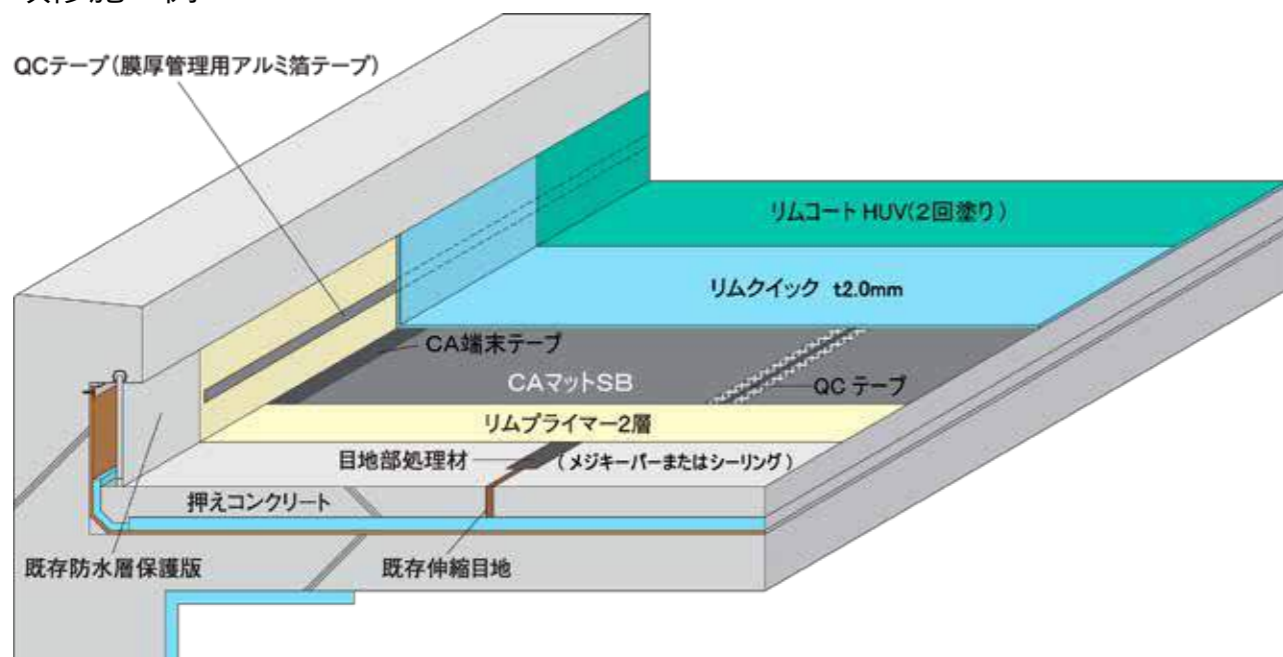
#### RC-TS20L

(単位: kg/㎡)

工程	仕様	平面部	立上り部
下地処理	下地の状況に応じて対応		
プライマー層	リムプライマー①	0.15	0.15
	リムプライマー②	0.15	0.15
エキスパンション目地処理 脱気装置	別途:目地処理例としてメジキパーまたはシーリング SUS脱気筒を設置します		
通気緩衝材	CAマットSB t0.7・1.05	1.05㎡/㎡	-
	QCテープ	1.0㎡/㎡	QCテープ1㎡/㎡
	CA末端テープ 適宜	-	-
	メッシュジョイントテープ	1.0㎡/㎡	-
端部処理	コスミックPRO・ゼロワンH立上り用	0.8	-
防水層	リムクイック	2.0	2.0
トップコート	リムコートHUV① 1層目	0.15	0.15
	リムコートHUV② 2層目	0.15	0.15
平均膜厚	渦電流式膜厚計	2.0mm	2.0mm
最低膜厚	渦電流式膜厚計	1.8mm	1.8mm

\*下地の状況によりプライマーを選択します  
\*脱気筒は50~100㎡毎に設けます

### 改修施工例



### 密着工法 RC-M30:最長15年保証

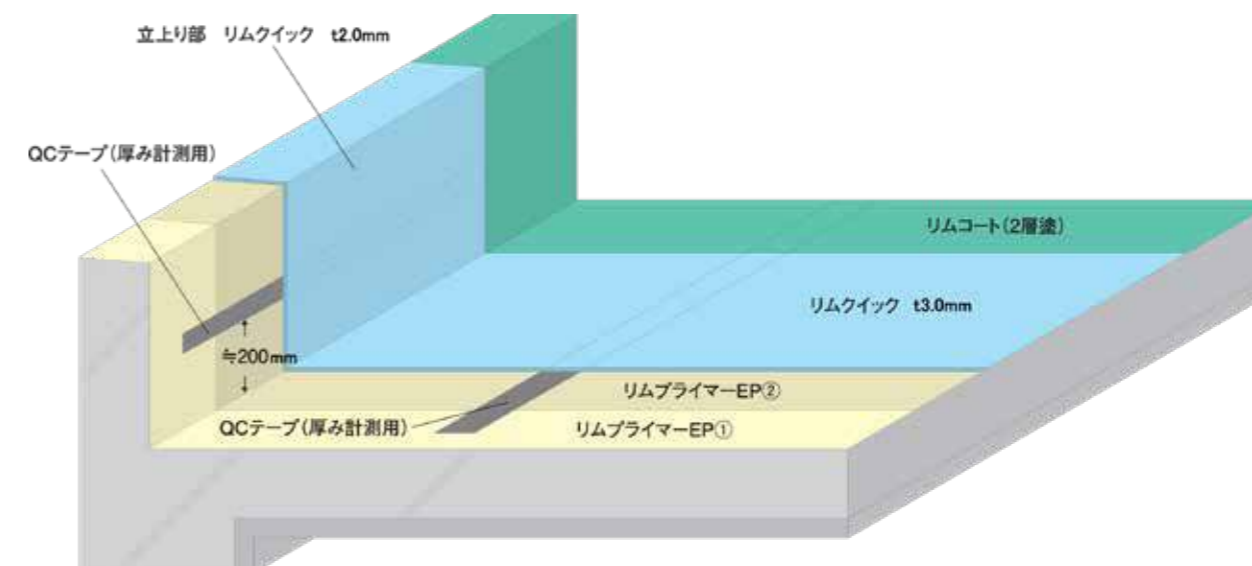
- ・防水下地コンクリート、モルタル等に直接リムクイックを吹き付ける密着工法です。
- ・耐薬品性、耐水(温水)性の高いエポキシ樹脂系プライマーを二層塗布することで、高強度形のリムクイックを下地に長時間密着させます。
- ・等間隔で下地に貼った、アルミ箔が積層されたQCテープによって、厚み測定が可能です。
- ・高強度形のリムクイックが、下地クラックに対し高い追従性を示します。
- ・トップコートの劣化要因である可塑剤含有量が極めて少ないリムクイックに対し、トップコートを2層施すことで、15年間の長期耐久性を示します。

#### RC-M30

(単位: kg/㎡)

工程	仕様	平面部	立上り部
下地処理	下地の状況に応じて対応		
プライマー層	リムプライマー-EP①	0.15	0.15
	リムプライマー-EP②	0.15	0.15
厚み計測用テープ貼	QCテープ	2m間隔	1m/m
防水層	リムクイック	3.0	2.0
トップコート	リムコートHUV① 1層目	0.15	0.15
	リムコートHUV② 2層目	0.15	0.15
平均膜厚	渦電流式膜厚計	3.0mm	2.0mm
最低膜厚	渦電流式膜厚計	2.7mm	1.8mm

\*下地の状況によりプライマーを選択します



\*防水納め上の躯体顎欠き込みが不用ですのでシンプルな躯体になります

リムクイック工法 P.1

リムクイック工法 工法分類一覧 P.7

長期保証工法 リムクイック工法 P.9

汎用工法 リムクイック工法 P.13

通気密着工法 RC-TS20L P.19

通気緩衝工法 RC-TS20L P.21

密着工法 RC-M30 P.25

製品情報 P.27

性能一覧 取扱い商品 P.29

注意事項 P.39

リムクイック工法 P.1

リムクイック工法 工法分類一覧 P.7

長期保証工法 リムクイック工法 P.9

汎用工法 リムクイック工法 P.13

通気密着工法 RC-TS20L P.19

通気緩衝工法 RC-TS20L P.21

密着工法 RC-M30 P.25

製品情報 P.27

性能一覧 取扱い商品 P.29

注意事項 P.39

# リムクイック®

## ポリウレア樹脂系超速硬化スプレー防水システム

### 通気緩衝工法 RC-TS20R:10年保証

- ・防水押えコンクリートのある一般屋上向けの汎用タイプの改修工法です。
- ・下地と接する部分に通気緩衝シート(プチル自着タイプ)を用い、下地に含まれる水分による防水層の膨れを低減し、下地収縮による挙動を緩衝する働きをします。
- ・通気シート表層の遮水フィルムにより施工途中の降雨による影響は受けません。  
\*膜厚管理はしませんが、施工法により概ね2mmは確保できます。  
施工面積に対するリムクイックの納品実績により平均厚さを担保します。

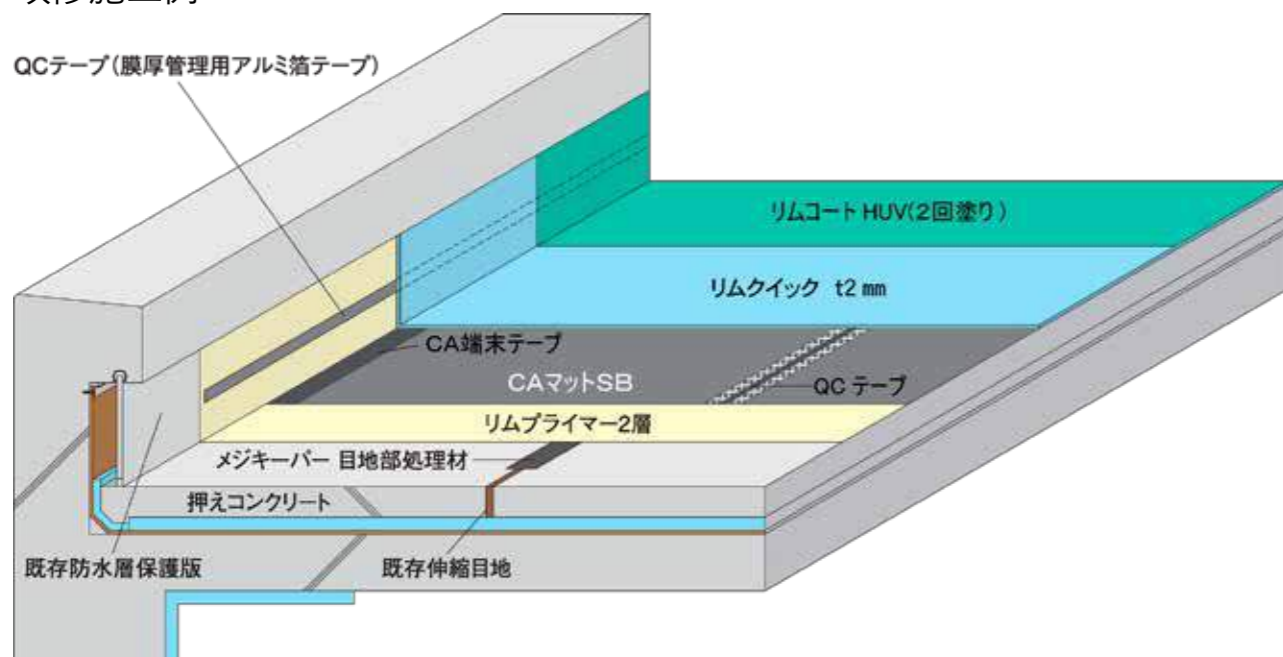
### RC-TS20R

(単位: kg/m<sup>2</sup>)

工程	仕様	平面部	立上り部
下地処理	下地の状況に応じて対応		
プライマー層	リムプライマー①	0.15	0.15
	リムプライマー②	0.15	0.15
エキスパンション目地処理 脱気装置	別途:目地処理例としてメジキーパーまたはシーリング SUS脱気筒を設置します		
通気緩衝材	CAマットSB t0.7・1.05	1.05m <sup>2</sup> /m <sup>2</sup>	-
	CA端末テープ	適宜	-
	メッシュジョイントテープ	1.0m <sup>2</sup> /m <sup>2</sup>	-
端部処理	コスミックPRO・ゼロワンH立上り用	0.8	-
防水層	リムクイック	2.0	2.0
トップコート	リムコートHUV	0.15	0.15
平均膜厚	渦電流式膜厚計	2.0mm	2.0mm

\*下地の状況によりプライマーを選択します  
\*脱気筒は50~100㎡毎に設けます

### 改修施工例



### 密着工法 RC-M20:10年保証

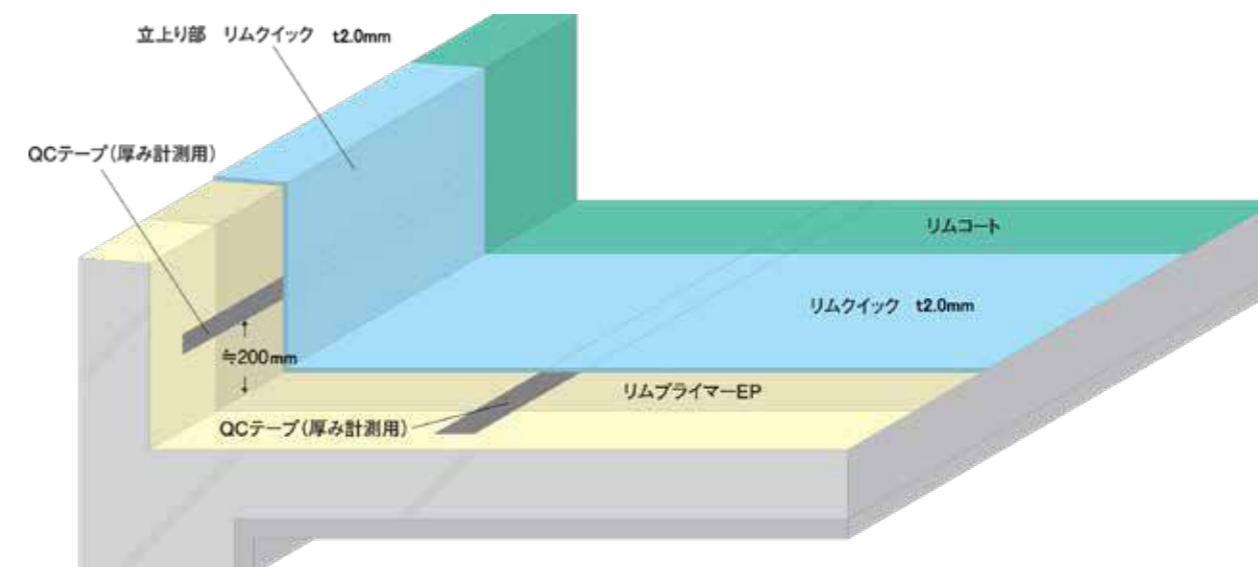
- ・防水下地コンクリート、モルタル等に直接リムクイックを吹き付ける密着工法です。
- ・耐薬品性、耐水(温水)性の高いエポキシ樹脂系プライマーを二層塗布することで、高強度形のリムクイックを下地に長時間密着させます。
- ・等間隔で下地に貼った、アルミ箔が積層されたQCテープによって、厚み測定が可能です。
- ・高強度形のリムクイックが、下地クラックに対し高い追従性を示します。

### RC-M20

(単位: kg/m<sup>2</sup>)

工程	仕様	平面部	立上り部
下地処理	下地の状況に応じて対応		
プライマー層	リムプライマーEP	0.15	0.15
厚み計測用テープ貼	QCテープ	2m間隔	1m/m
防水層	リムクイック	2.0	2.0
トップコート	リムコートHUV	0.15	0.15
平均膜厚	渦電流式膜厚計	2.0mm	2.0mm

\*下地の状況によりプライマーを選択します



P.1 リムクイック工法  
P.7 リムクイック工法  
P.9 長期保証工法  
P.13 リムクイック工法  
P.19 通気密着工法  
P.21 通気緩衝工法  
P.25 密着工法  
P.27 製品情報  
P.29 性能一覧  
P.39 注意事項

P.1 リムクイック工法  
P.7 リムクイック工法  
P.9 長期保証工法  
P.13 リムクイック工法  
P.19 通気密着工法  
P.21 通気緩衝工法  
P.25 密着工法  
P.27 製品情報  
P.29 性能一覧  
P.39 注意事項



# リムクイック®

## ポリウレア樹脂系超速硬化スプレー防水システム

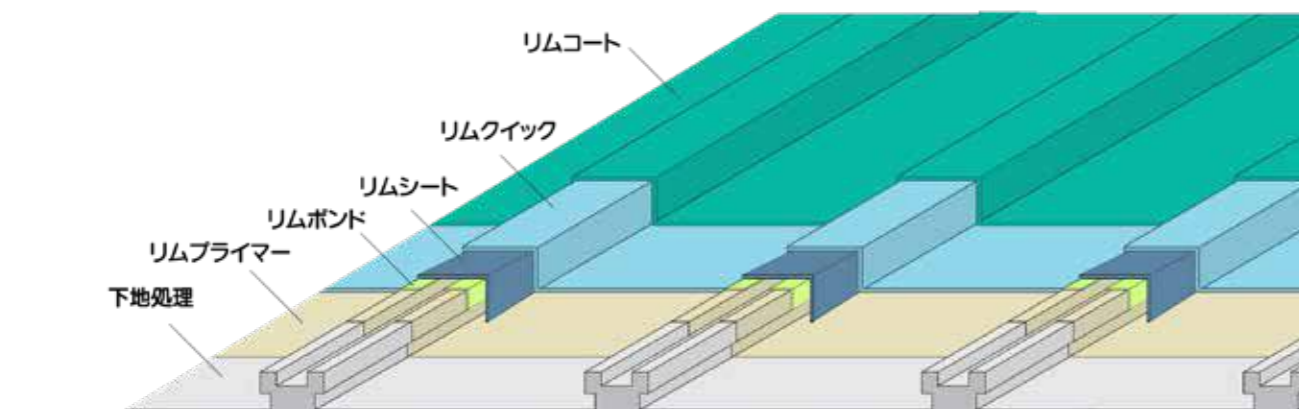
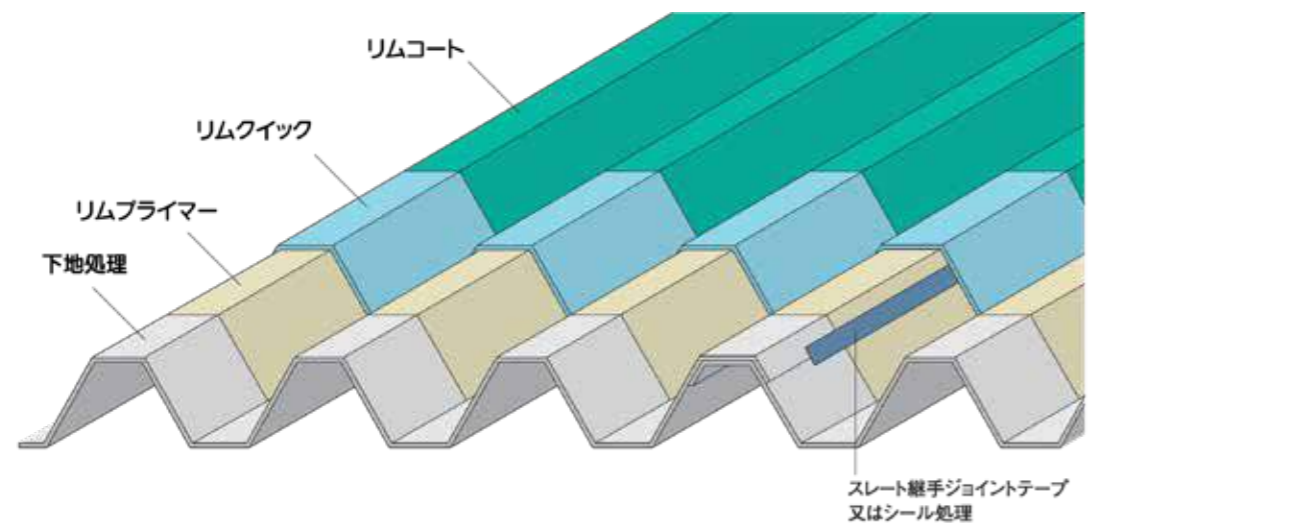
### 密着工法 ST-M20(金属屋根下地仕様):10年保証

ST-M20工法は、鉄骨階段、鋼板屋根(折板、瓦棒)等に対応できます。  
 スプレー工法のため、シームレスな防水膜を形成しますので複雑な形状に対応できます。  
 塗膜が鋼材を保護し、耐久性が向上します。また、鉄骨階段等では靴音等の防音に効果があります。

#### ST-M20

(単位: kg/m<sup>2</sup>)

工程	仕様	平面部
下地処理	下地の状況に応じて対応	
プライマー層	リムプライマー	0.15
継手処理等	スレート固定ボルトキャップ処理・スレート継手ジョイントテープ処理又はシール処理	
防水層	リムクイック	2.0
トップコート	リムコートHUV	0.15
平均膜厚	渦電流式膜厚計	2.0mm



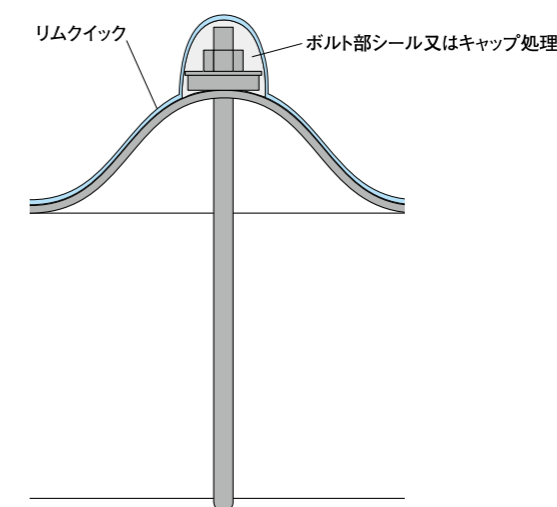
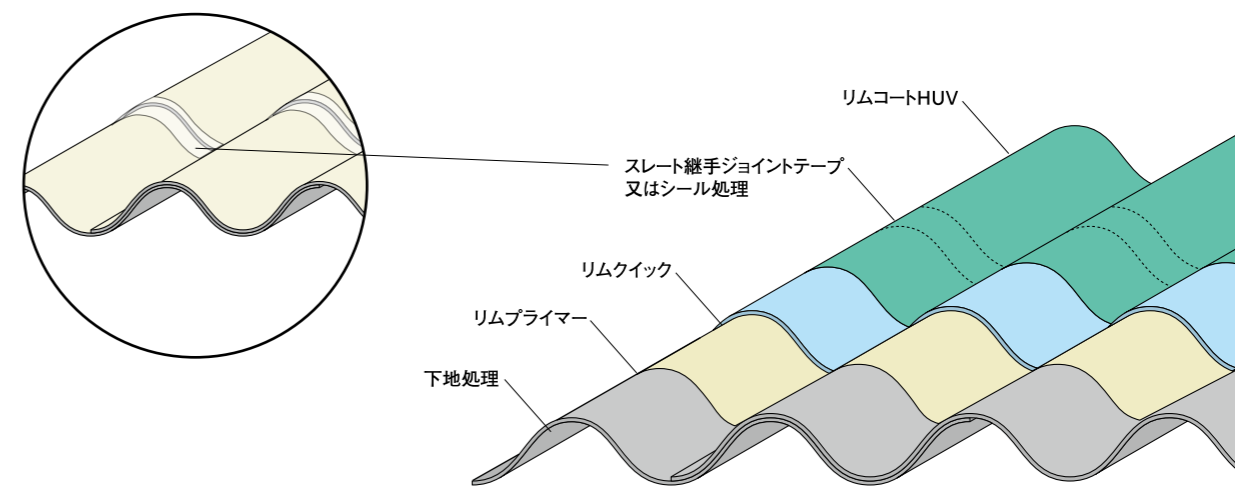
### 密着工法 SL-M20(波型スレート下地仕様):10年保証

- ・高強度のリムクイックで被膜することにより防水効果のみならずスレートの耐久性が向上します。
- ・下地処理については研磨、水洗い等行いますがスレートの製造年代(1970~1990)によってはアスベストを含むものがありますのでこの場合は簡易的な下地処理を行います。
- ・施工に際しては踏み抜き防止対策を行いながら施工を進めます。

#### SL-M20

(単位: kg/m<sup>2</sup>)

工程	仕様	平面部
下地処理	下地の状況に応じて対応	
プライマー層	リムプライマー	0.15
スレート継手処理等	スレート固定ボルトキャップ処理・スレート継手ジョイントテープ処理又はシール処理	
厚み計測用テープ貼	QCテープ	@2m
防水層	リムクイック	2.0
トップコート	リムコートHUV	0.15
平均膜厚	渦電流式膜厚計	2.0mm



# リムクイック®

## ポリウレア樹脂系超速硬化スプレー防水システム

### 密着工法 RCV-M20(塩ビシート防水下地仕様):10年保証

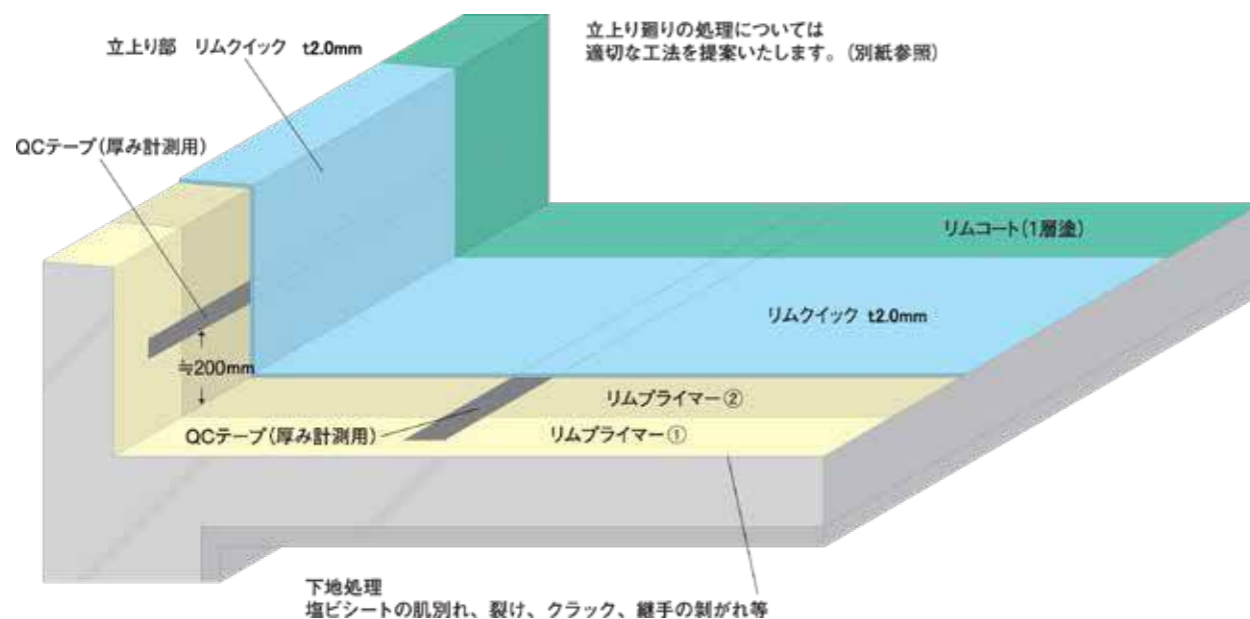
- ・既存の塩ビシート防水の下地との肌別れ・シートの裂け・継手の剥がれ等の不具合は塩ビシートの接着剤・シート自体の経年劣化、下地躯体の経年による収縮クラック等によることに起因しています。対策としては部分的な場合は不具合部を下地処理し当工法にてオーバーレイします。ただし施工した後、下地シートによる膨れ等生じることもありますがリムクイック防水の品質を損なうものではありませんので保証の対象外と致します。
- ・シート防水がほぼ浮いている状況では全面撤去し新たにRC-M20等の工法をお勧めします。

### RCV-M20

(単位: kg/m<sup>2</sup>)

工程	仕様	平面部	立上り部
下地処理	下地の状況に応じて対応		
プライマー層	リムプライマー(塩ビシート用)	0.15	0.15
防水層	リムクイック	2.0	2.0
トップコート	リムコートHUV	0.15	0.15
平均膜厚	渦電流式膜厚計	2.0mm	2.0mm

### 一般屋上施工例



### 一般屋上パラペット納まり参考写真



※足場がなく吹付け養生が困難な屋上端部にて、吹付け施工できない時、リム笠木によるウレア系の防水材でリムクイックとの防水層をシームレスに形成できます。

リムクイック工法 P.1

リムクイック工法 工法分類一覧 P.7

長期保証工法 概要 P.9

リムクイック工法 概要 汎用工法 P.13

RC-TK 通気密着工法 納まり図 P.19

RC-TS 通気緩衝工法 納まり図 P.21

RC-M 密着工法 納まり図 P.25

製品情報 P.27

性能一覧 取り合い商品 P.29

注意事項 P.39

リムクイック工法 P.1

リムクイック工法 工法分類一覧 P.7

長期保証工法 概要 P.9

リムクイック工法 概要 汎用工法 P.13

RC-TK 通気密着工法 納まり図 P.19

RC-TS 通気緩衝工法 納まり図 P.21

RC-M 密着工法 納まり図 P.25

製品情報 P.27

性能一覧 取り合い商品 P.29

注意事項 P.39

# リムクイック®

## ポリウレア樹脂系超速硬化スプレー防水システム

### 駐車場等高荷重仕様 密着工法 HL-M30P:10年保証

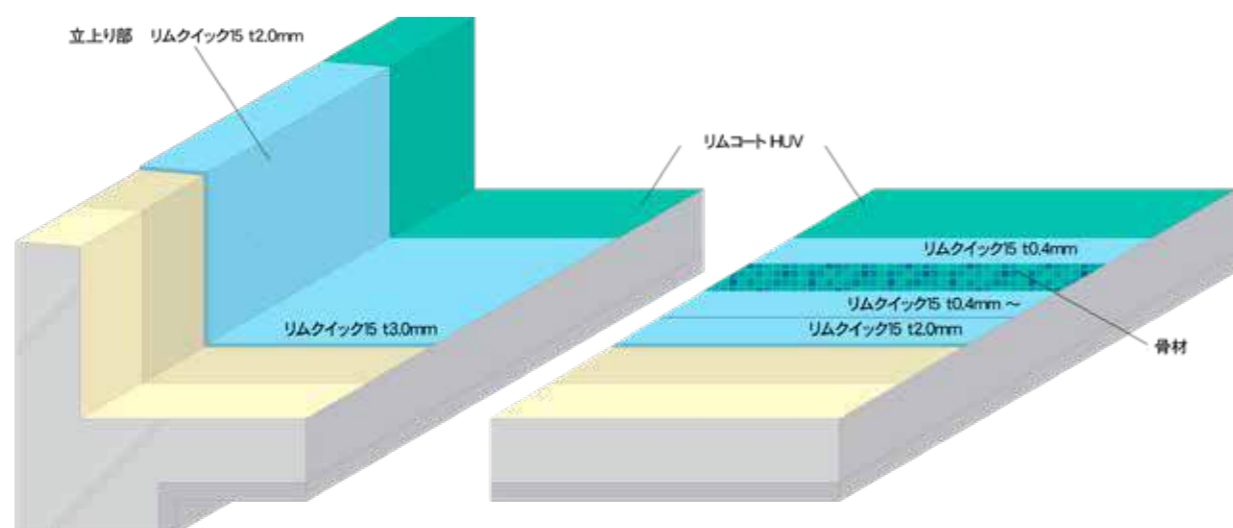
- ・車輪によるグリップ力に対する耐久性と防滑性を備えた工法です。
- ・防水と仕上げを同時に施工するので、防水押えコンクリートを省き固定荷重とトータルコストの低減および工期短縮が図れます。
- ・密着工法ですので、躯体の乾燥期間を充分確保してください。なおデッキプレート床版の場合、湿気が抜けきらず膨れの原因になりますので脱気処理等検討します。ご相談ください。
- ・摩耗の激しい場所は防水層保護のためトップコート、防滑剤の補修を早期に実施して下さい。
  - \*PC床版等は板ジョイントのたわみの差があるので、予めご相談ください。
  - \*改修工事では下地処理、下地含侵水分の脱気処理等別途行います。
  - \*地下駐車場等、火災時の延焼防止に自己消火性のある材料(リムクイック15)を使用します。

#### HL-M30P

(単位: kg/m<sup>2</sup>)

工程	仕様	平面部	立上り部
下地処理	研磨処理(下地の状況に応じて他別途対応)		
プライマー層	リムプライマー	0.15	0.15
防水層+防滑剤	リムクイック 骨材(防滑剤)	2.0 +0.4~	2.0 -
防水層	リムクイック15	0.4~	-
トップコート	リムコートHUV	0.15	0.15
防水層厚さ		3.0mm	2.0mm

### 施工例



駐車場・走行部以外

駐車場・走行部

### スタンド仕様 密着工法 HL-M30S:10年保証

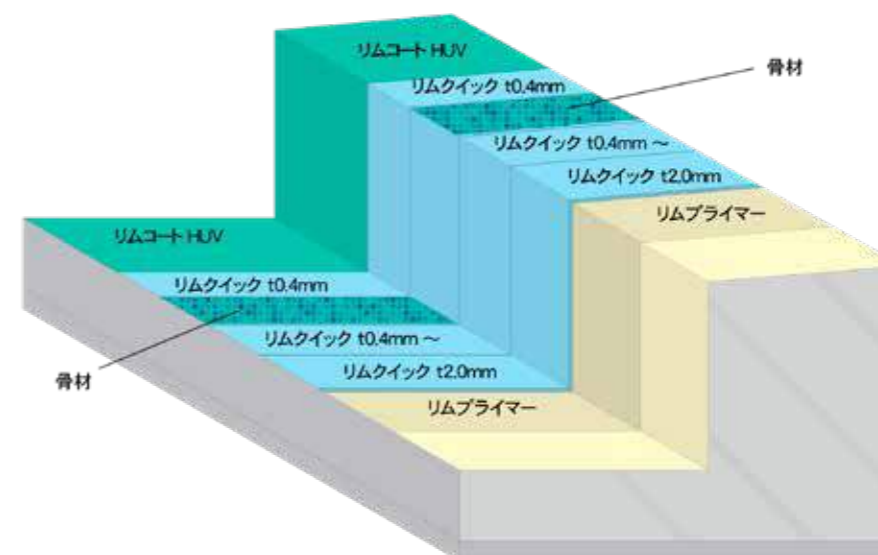
- ・大規模面積の施工の工期短縮に最適です。  
超速硬化のため連続して次工程に進められるため、トータルでの工期短縮が可能です。
- ・優れた塗膜物性により耐摩耗性と下地追従性を発揮できます。

#### HL-M30S

(単位: kg/m<sup>2</sup>)

工程	仕様	平面部	立上り部
下地処理	下地の状況に応じて他別途対応		
プライマー層	リムプライマー	0.15	0.15
防水層+防滑剤	リムクイック 骨材(防滑剤)	2.0 +0.4~	2.0 -
防水層	リムクイック	0.4~	-
トップコート	リムコートHUV	0.15	0.15
防水層の厚さ		3.0mm	2.0mm

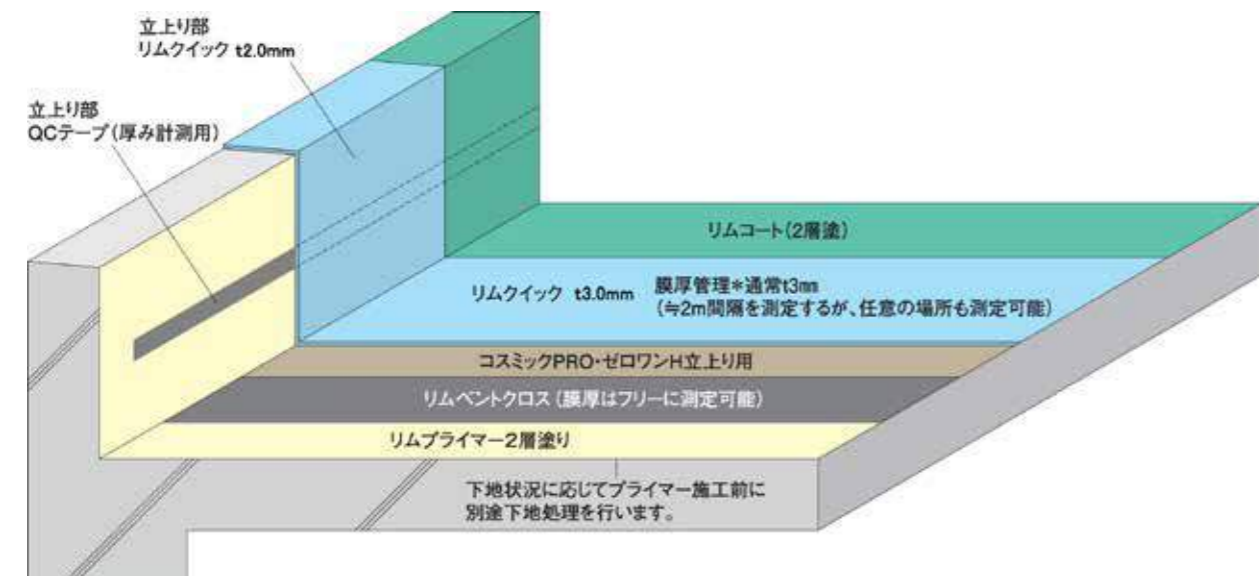
### 施工例



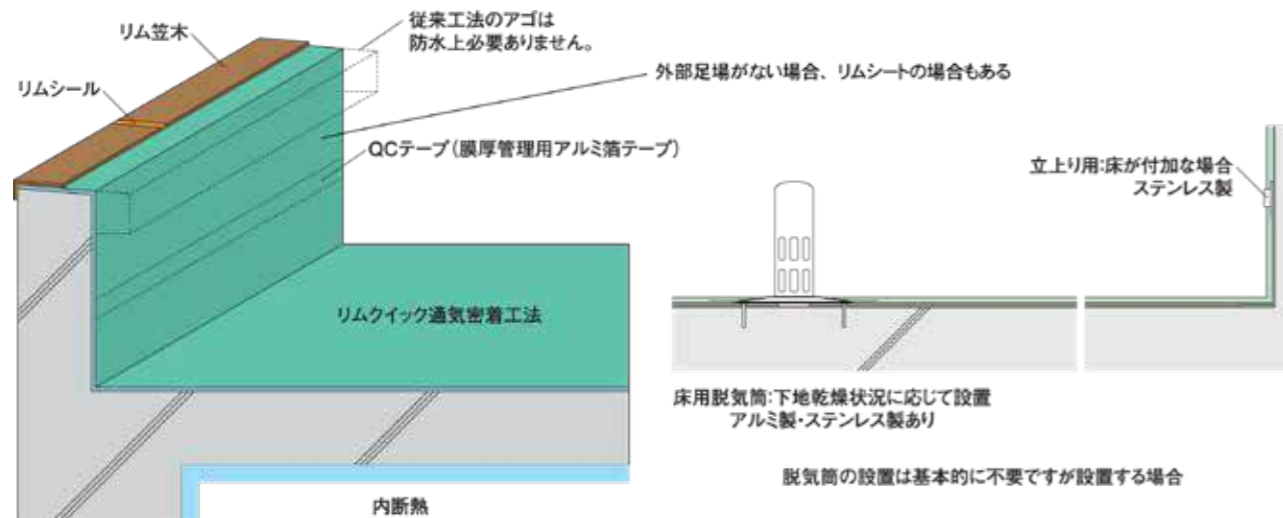
# リムクイック®

## ポリウレア樹脂系超速硬化スプレー防水システム

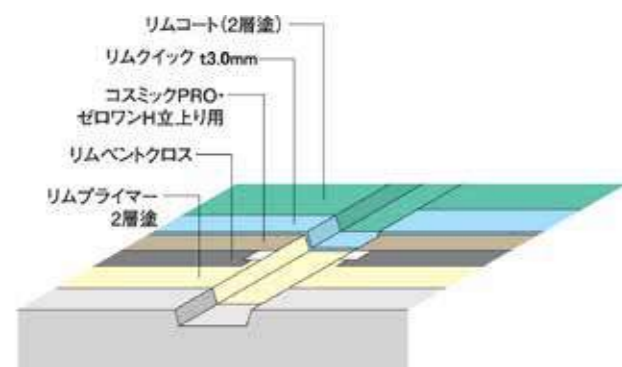
リムクイック通気密着工法 RC-TK30(最長20年保証)納まり例:【新築】



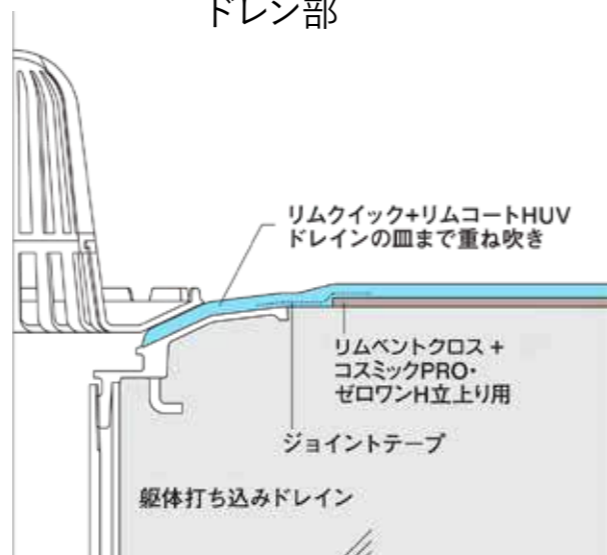
### パラペット廻り



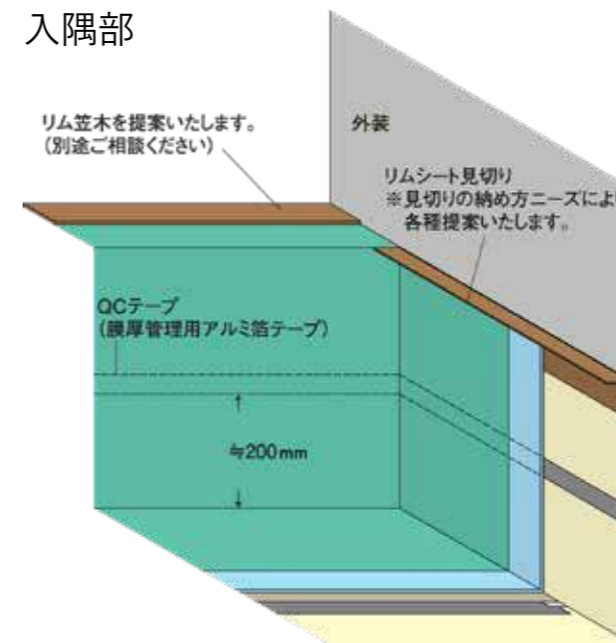
### 排水溝部



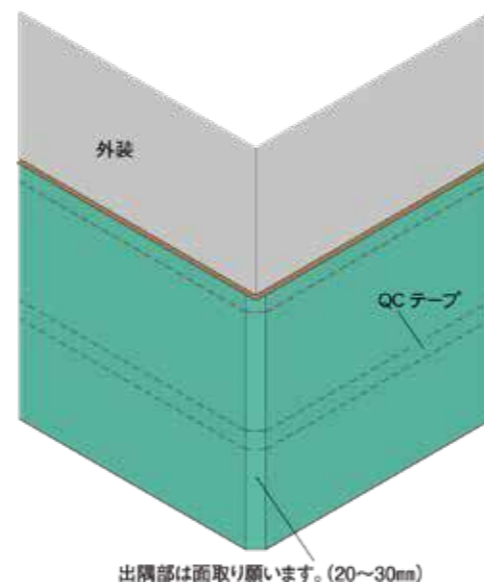
### ドレン部



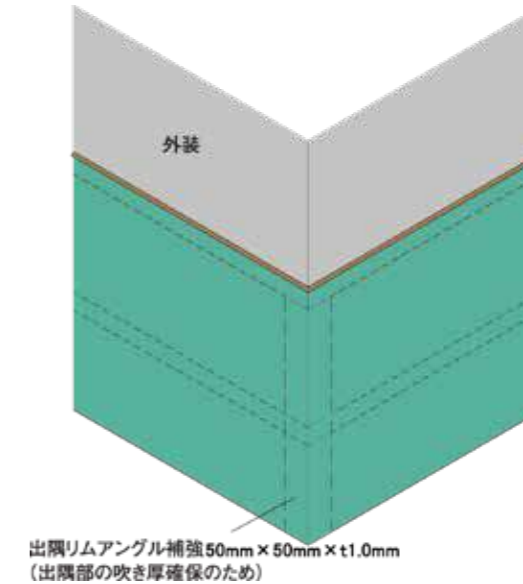
### 入隅部



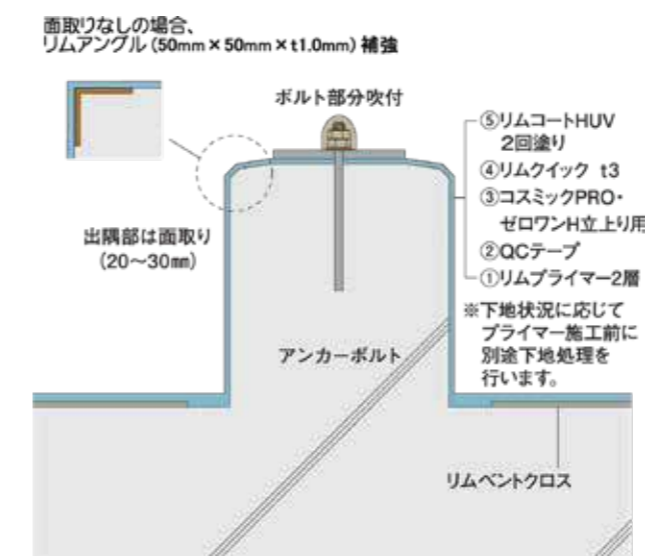
### 出隅部



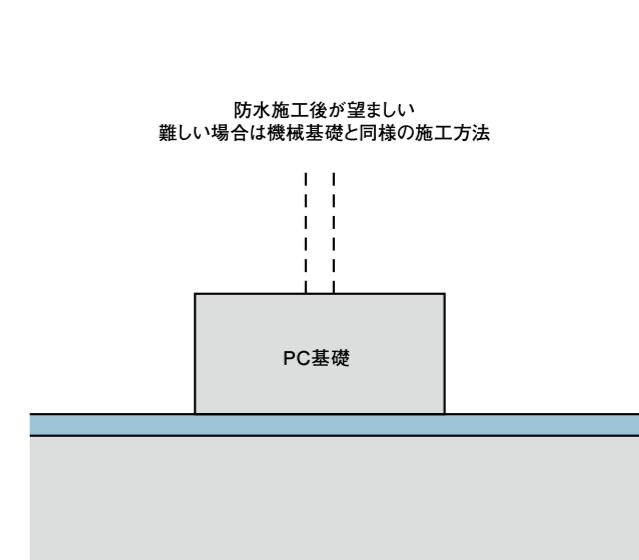
### 出隅部面取りがない場合



### 機械基礎部



### 手摺基礎・配管受け台等



リムクイック工法 P.1

工法分類一覽 リムクイック工法 P.7

長期保証工法 リムクイック工法 P.9

汎用工法 リムクイック工法 P.13

納まり図 通気密着工法 RC-TK P.19

納まり図 通気緩衝工法 RC-TS P.21

納まり図 密着工法 RC-M P.25

製品情報 P.27

性能一覽 取り合い商品 P.29

注意事項 P.39

リムクイック工法 P.1

工法分類一覽 リムクイック工法 P.7

長期保証工法 リムクイック工法 P.9

汎用工法 リムクイック工法 P.13

納まり図 通気密着工法 RC-TK P.19

納まり図 通気緩衝工法 RC-TS P.21

納まり図 密着工法 RC-M P.25

製品情報 P.27

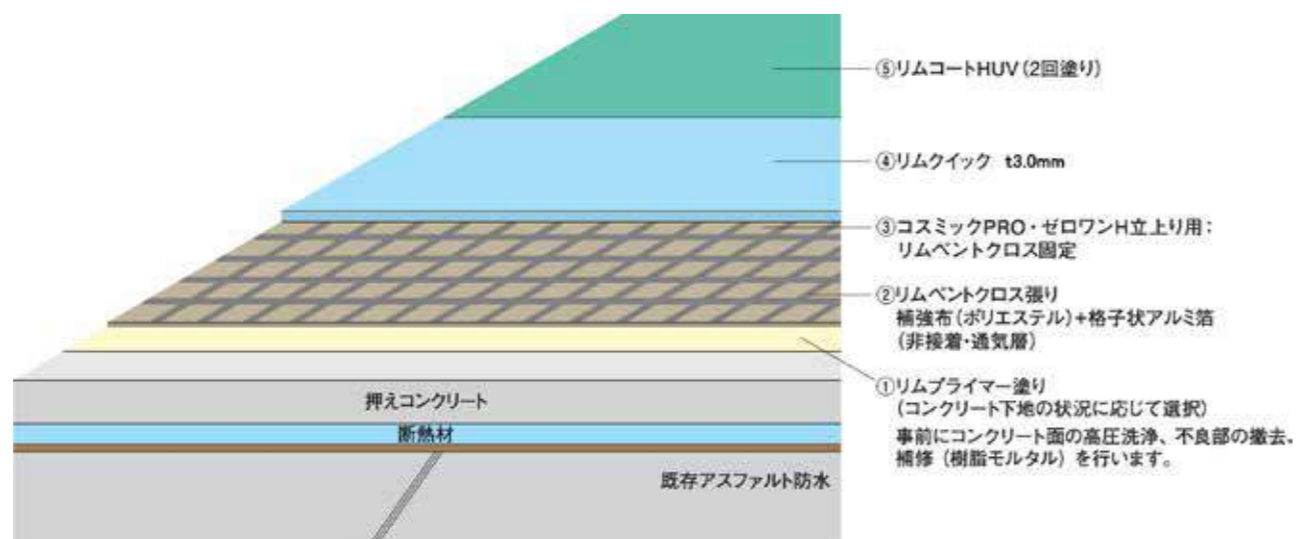
性能一覽 取り合い商品 P.29

注意事項 P.39

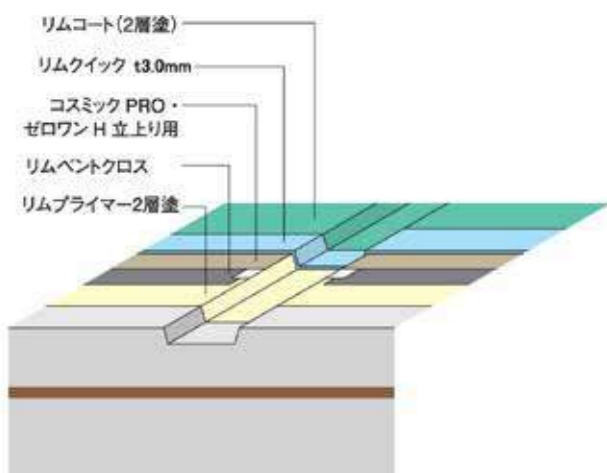
# リムクイック®

## ポリウレタ樹脂系超速硬化スプレー防水システム

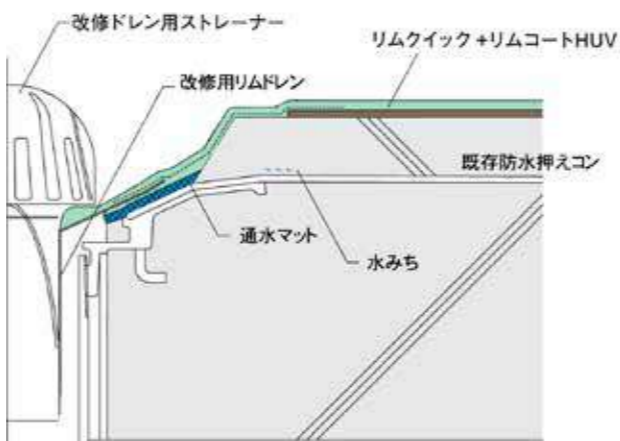
リムクイック通気密着工法 RC-TK30(最長20年保証)納まり例:【改修】



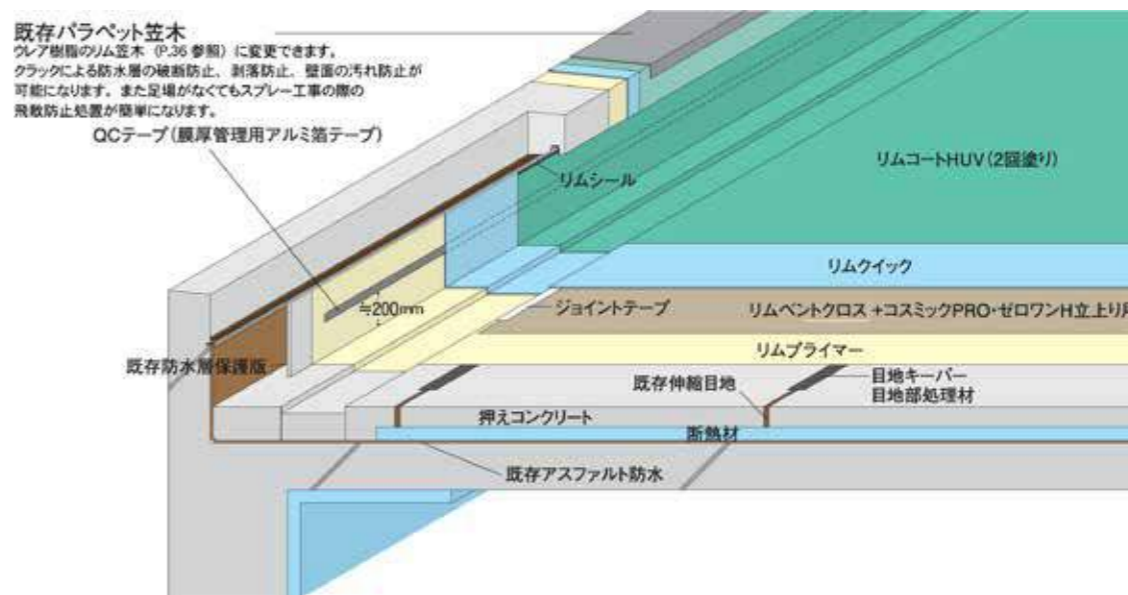
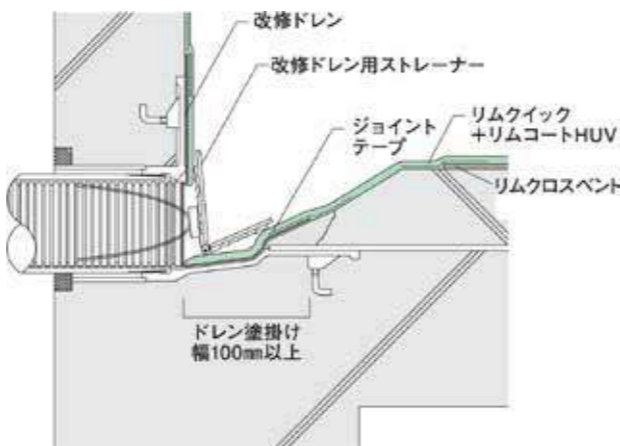
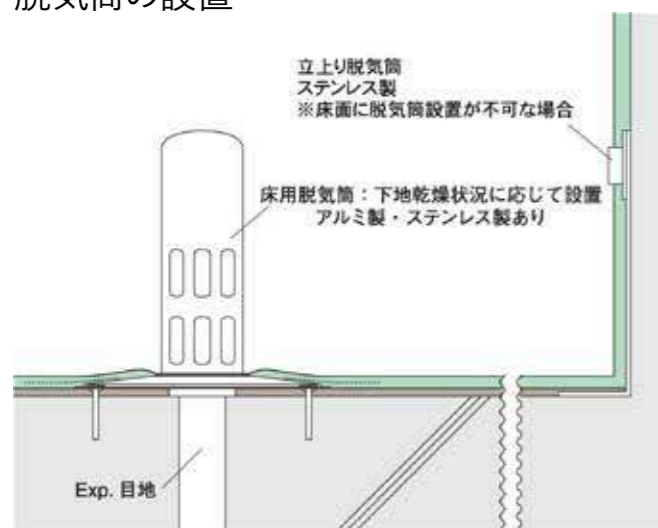
### 排水溝部



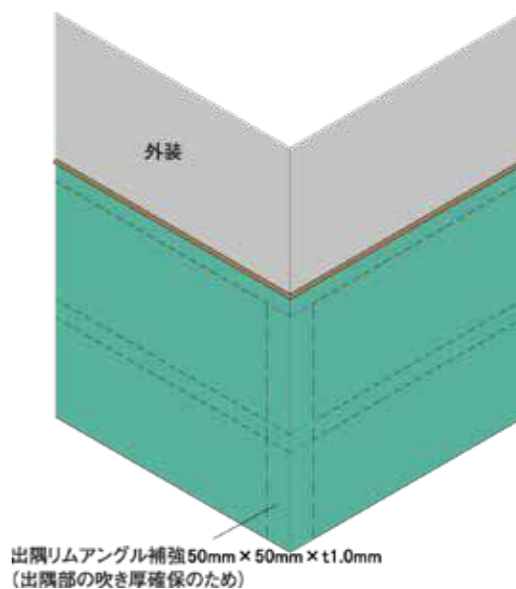
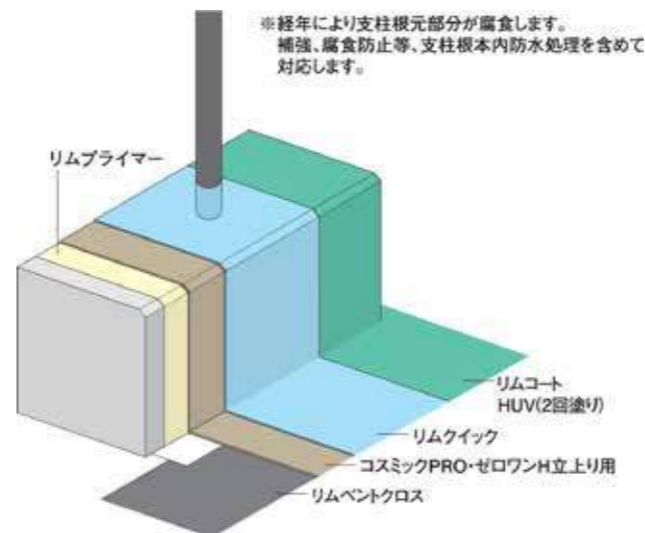
### ドレン部



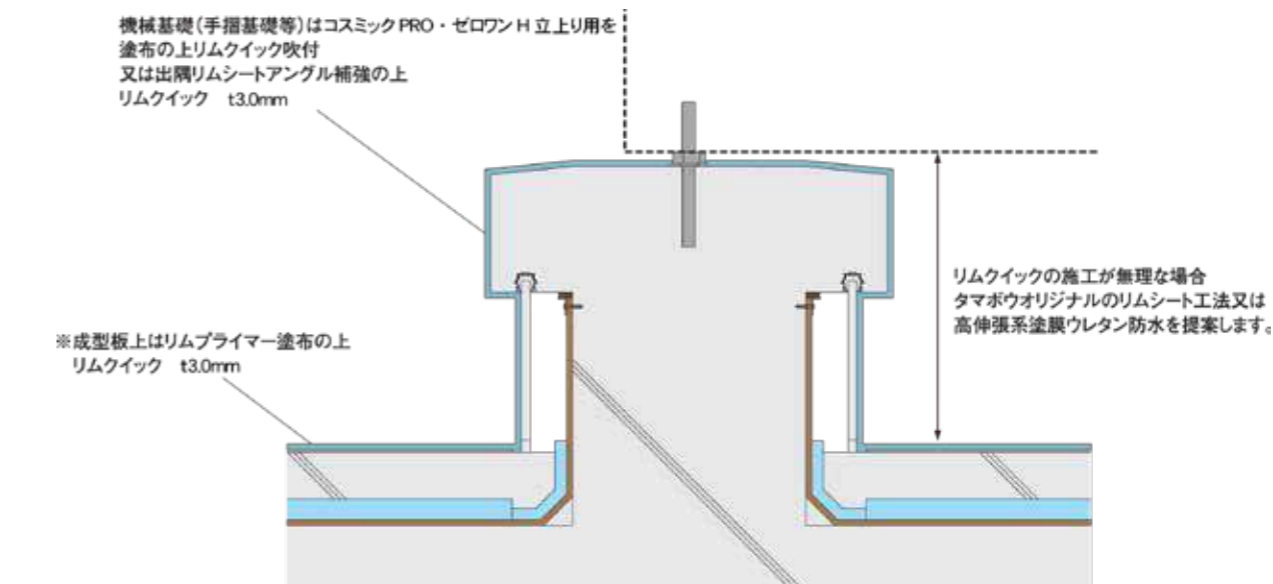
### 脱気筒の設置



### 手摺基礎



### 機械基礎部の施工例



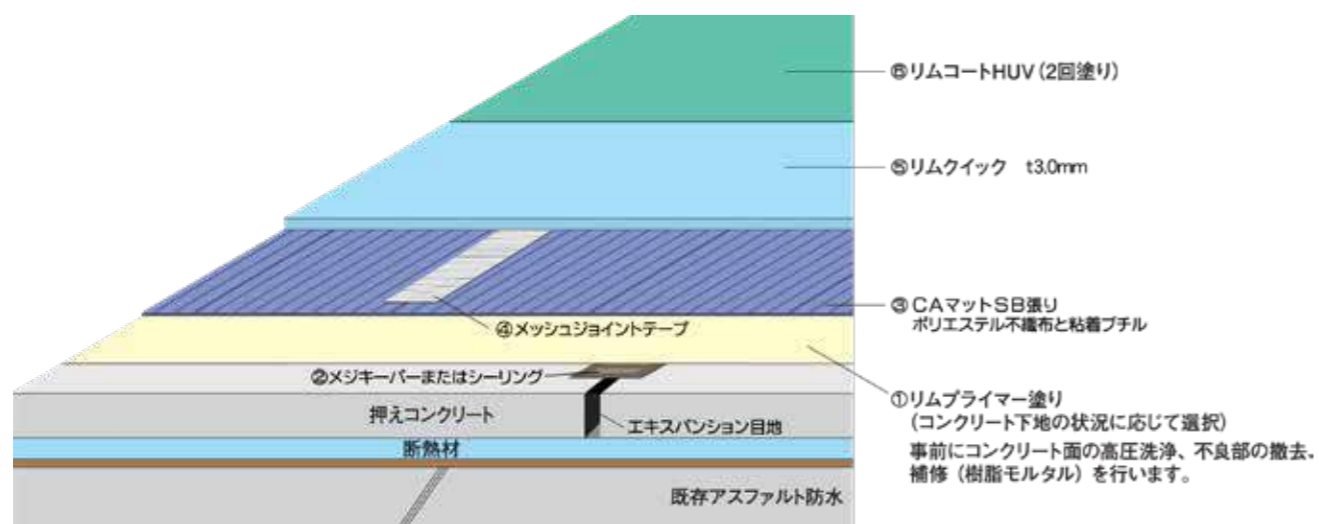
リムクイック工法 P.1  
工法分類一覽 P.7  
長期保証工法 P.9  
汎用工法 P.13  
通気密着工法 P.19  
通気緩衝工法 P.21  
密着工法 P.25  
製品情報 P.27  
性能一覽 P.29  
注意事項 P.39

リムクイック工法 P.1  
工法分類一覽 P.7  
長期保証工法 P.9  
汎用工法 P.13  
通気密着工法 P.19  
通気緩衝工法 P.21  
密着工法 P.25  
製品情報 P.27  
性能一覽 P.29  
注意事項 P.39

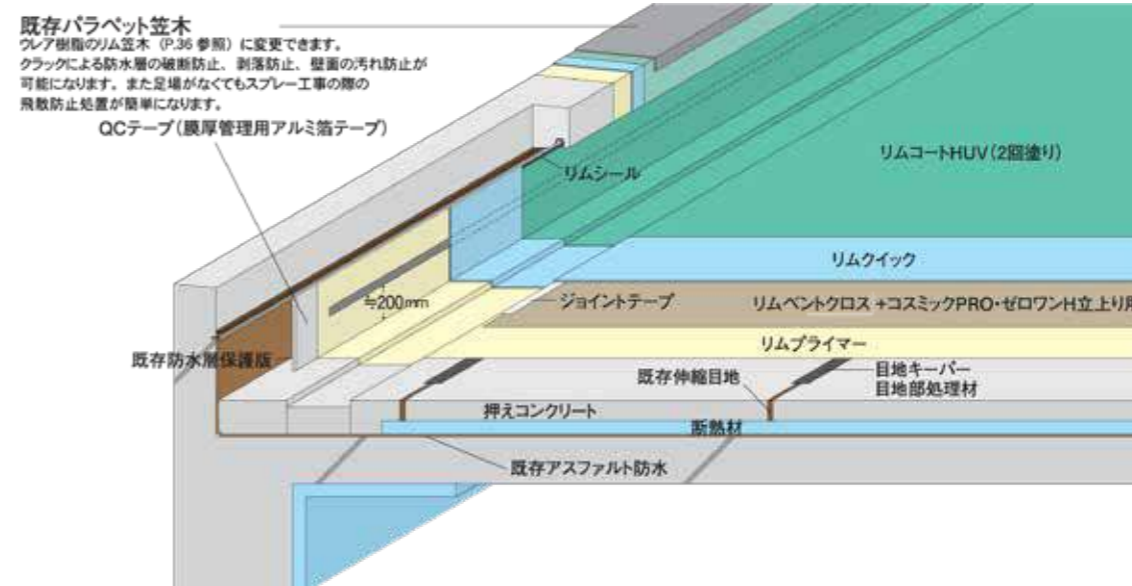
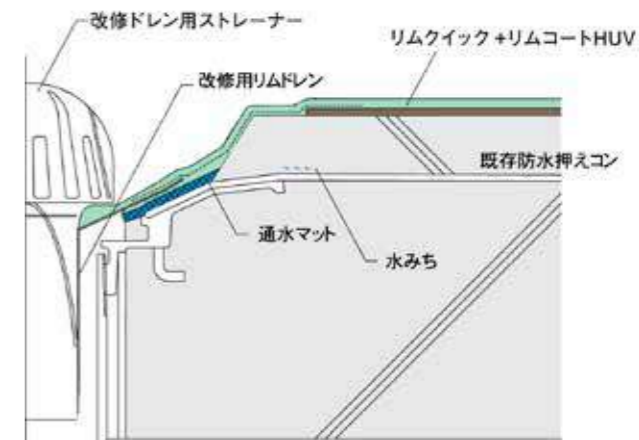
# リムクイック®

## ポリウレタ樹脂系超速硬化スプレー防水システム

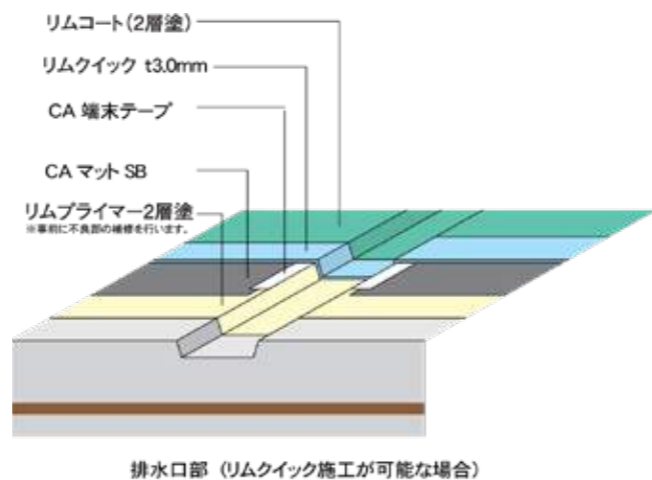
リムクイック通気緩衝工法 RC-TS30(20年保証可)納まり例



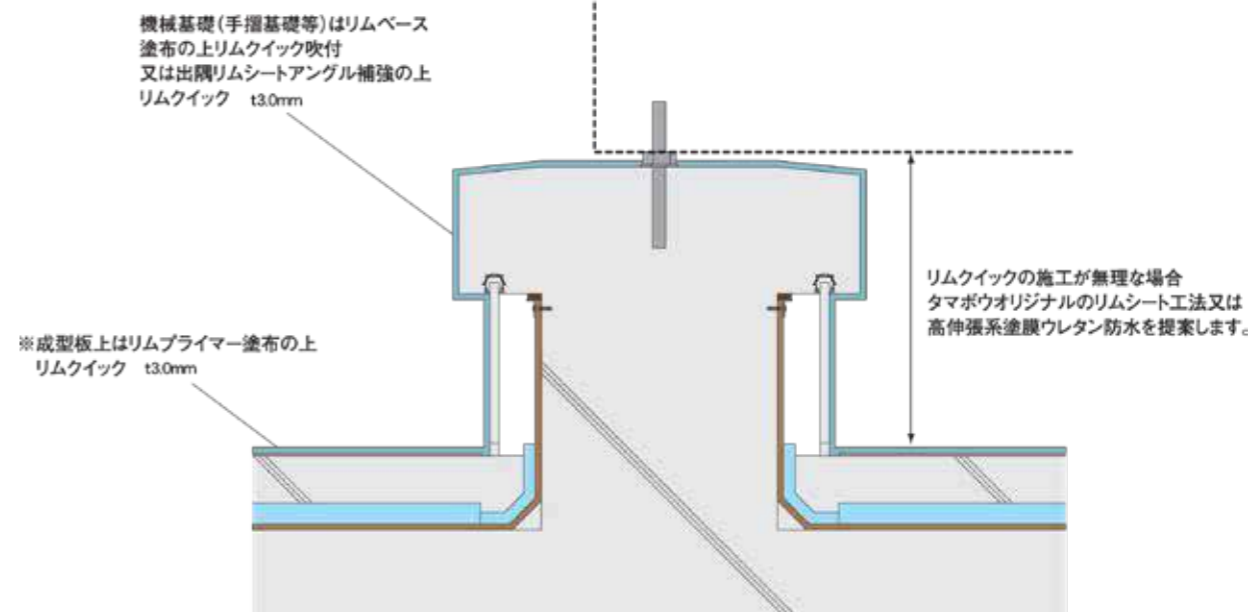
### ドレン部



### 排水溝部

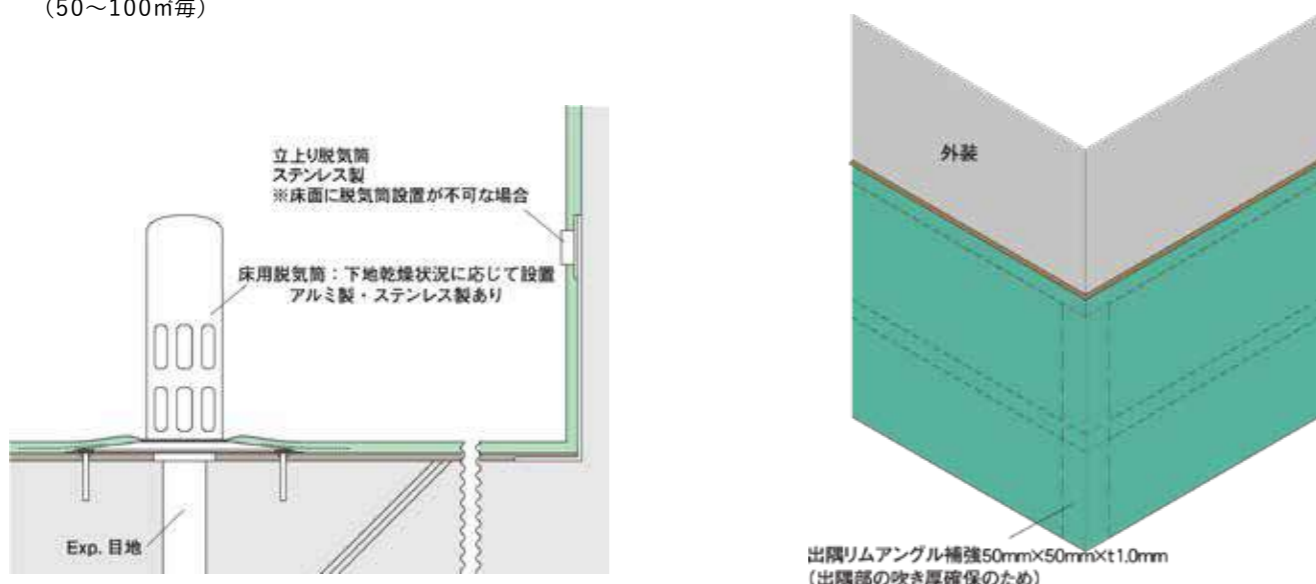


### 機械基礎部の施工例



### 脱気筒の設置

(50~100㎡毎)



リムクイック工法 P.1  
 工法分類一覽 P.7  
 長期保証工法 P.9  
 汎用工法 P.13  
 通気密着工法 P.19  
 通気緩衝工法 P.21  
 密着工法 P.25  
 製品情報 P.27  
 性能一覽 P.29  
 注意事項 P.39

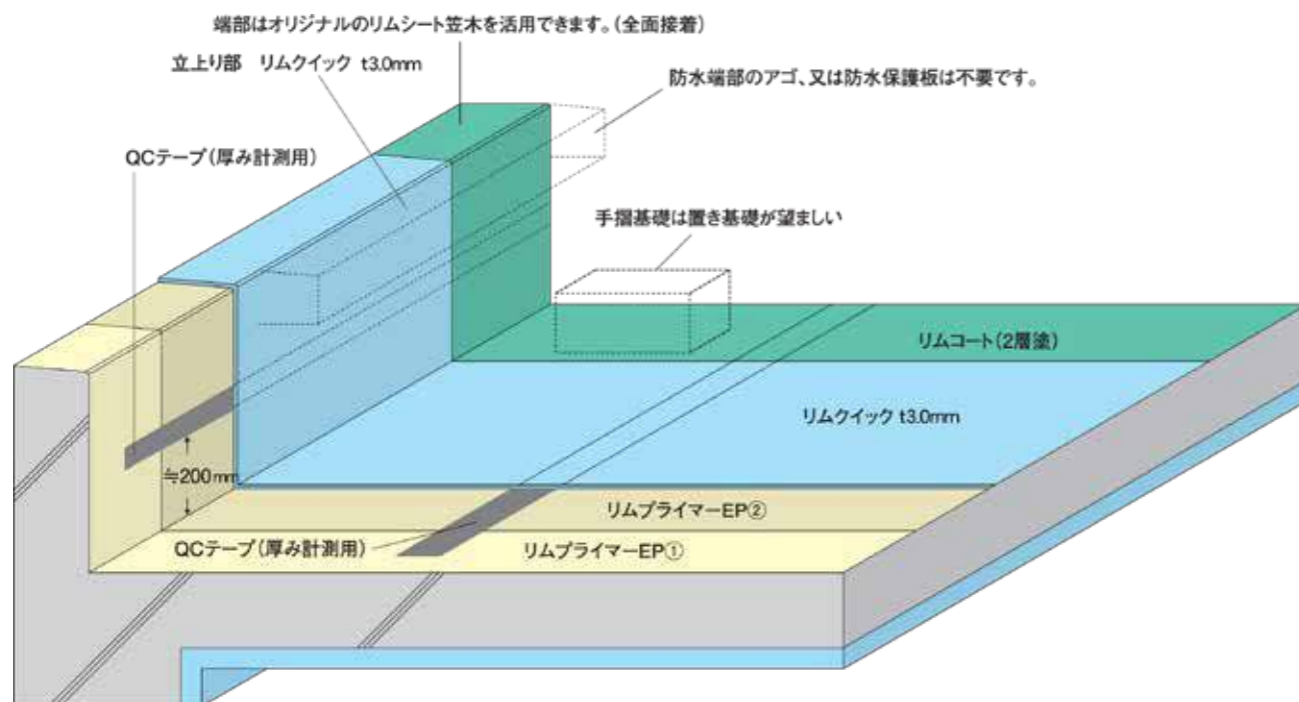
リムクイック工法 P.1  
 工法分類一覽 P.7  
 長期保証工法 P.9  
 汎用工法 P.13  
 通気密着工法 P.19  
 通気緩衝工法 P.21  
 密着工法 P.25  
 製品情報 P.27  
 性能一覽 P.29  
 注意事項 P.39

# リムクイック®

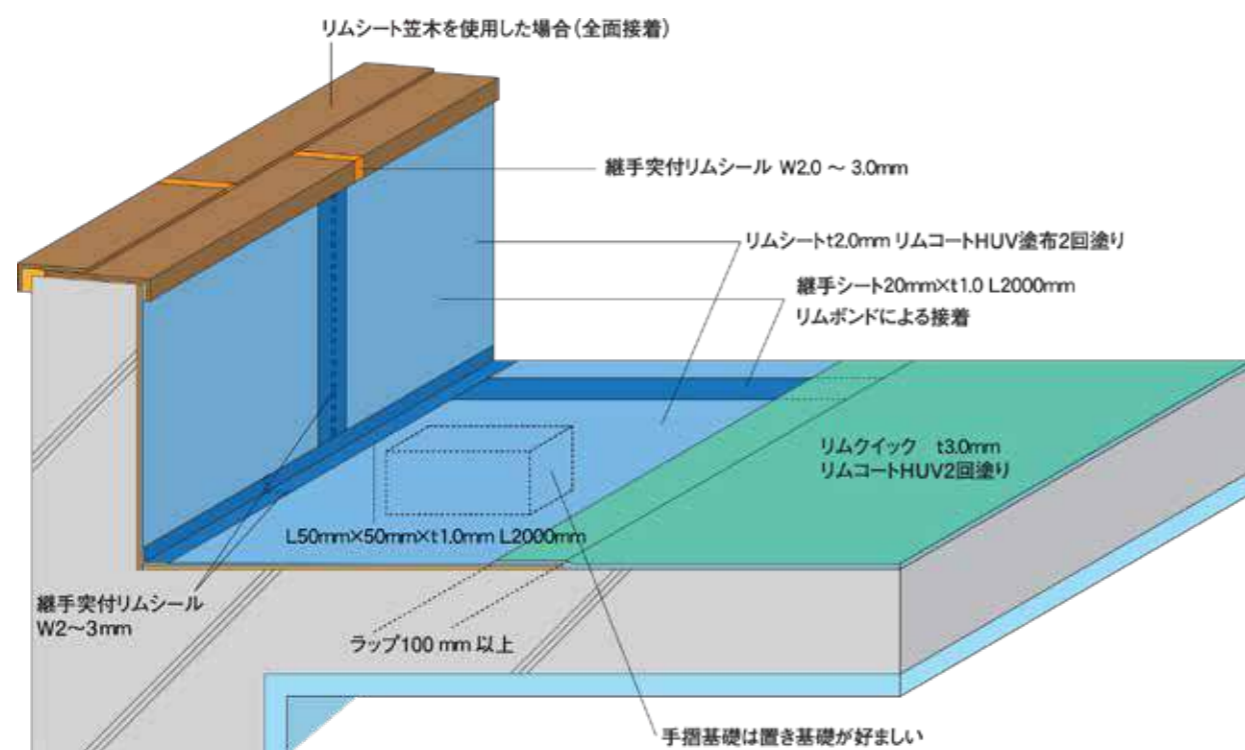
## ポリウレア樹脂系超速硬化スプレー防水システム

### リムクイック密着工法 RC-M30(15年保証可)納まり例

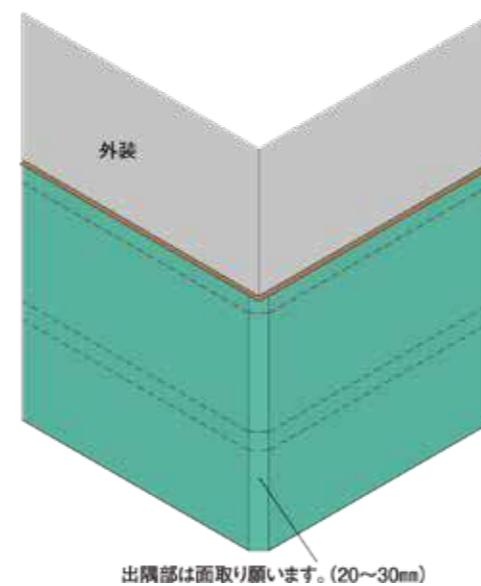
パラペット周辺 リムクイック工法が可能な場合  
※外周足場等でスプレーの飛散養生が可能な場合



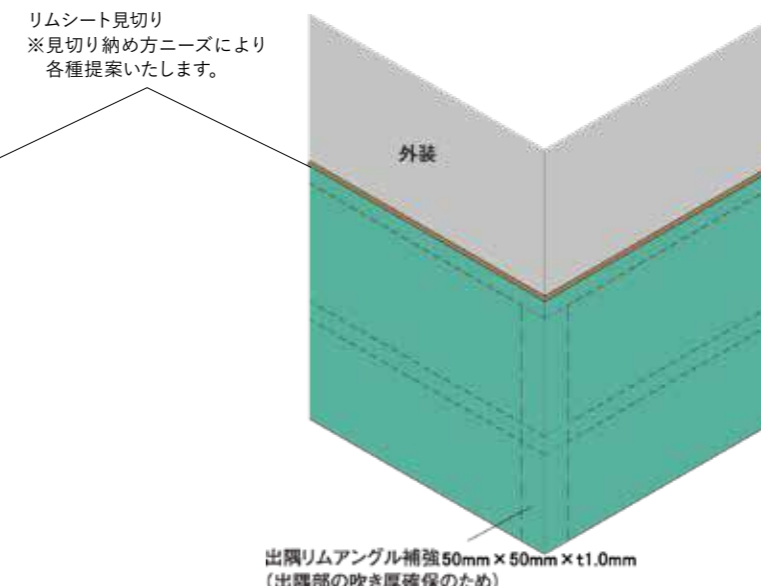
パラペット周辺部をリムシートで納めた場合  
※リムシートを先行→飛散養生スペース→リムクイック施工  
※外部足場(飛散養生を兼ねた)が無くても施工できます。



### 出隅部

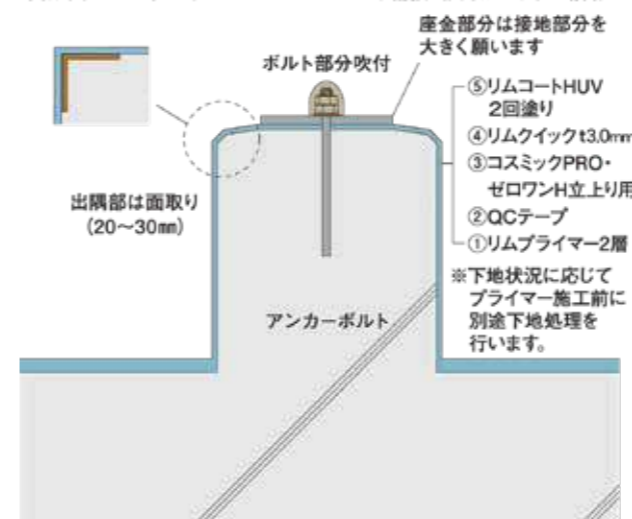


### 出隅部面取りがない場合



### 機械基礎部

又は、リムアングル (50mm×50mm×t1.0mm) 補強 (面取りできない場合)



- リムクイック工法 P.1
- 工法分類一覧 P.7
- 長期保証工法 P.9
- 汎用工法 P.13
- 通気密着工法 P.19
- 通気緩衝工法 P.21
- 密着工法 P.25
- 製品情報 P.27
- 性能一覧 P.29
- 注意事項 P.39

- リムクイック工法 P.1
- 工法分類一覧 P.7
- 長期保証工法 P.9
- 汎用工法 P.13
- 通気密着工法 P.19
- 通気緩衝工法 P.21
- 密着工法 P.25
- 製品情報 P.27
- 性能一覧 P.29
- 注意事項 P.39

# 製品情報

## ポリウレタ樹脂系超速硬化スプレー防水材

リムクイック10



配合比	A剤:B剤(+スプレートナー)=1:1(容積比)
入目	390kg/セット(A剤200kg/ドラム: B剤182kg/ドラム:トナー8kg/缶) 【小分け】 36kg/セット(A剤18kg/缶:B剤18kg/缶)
硬化物密度 (Mg/m <sup>3</sup> )	1.0
ホルムアルデヒド 放散等級区分 及び登録番号	F☆☆☆☆ NUK-F17971

季節	冬期	春秋期	夏期
温度	5~15°C	15~25°C	25~35°C
指触硬化時間	1~3分(専用吹付け機械塗工)		
乾燥時間 <sup>※1</sup>	60分	30分	30分
接着可能時間 <sup>※2</sup>	8時間	6時間	6時間

※1 トップコートが塗布可能となる目安の時間です。  
※2 吹重ね可能な時間、またはトップコートが接着可能な時間です。

リムクイック15 ※自己消火性があります。



配合比	A剤:B剤(+スプレートナー)=1:1(容積比)
入目	390kg/セット(A剤200kg/ドラム: B剤182kg/ドラム:トナー8kg/缶) 【小分け】 36kg/セット(A剤18kg/缶:B剤18kg/缶)
硬化物密度 (Mg/m <sup>3</sup> )	1.0
ホルムアルデヒド 放散等級区分 及び登録番号	F☆☆☆☆ NUK-F17971

季節	冬期	春秋期	夏期
温度	5~15°C	15~25°C	25~35°C
指触硬化時間	1~3分(専用吹付け機械塗工)		
乾燥時間 <sup>※1</sup>	60分	30分	30分
接着可能時間 <sup>※2</sup>	8時間	6時間	6時間

※1 トップコートが塗布可能となる目安の時間です。  
※2 吹重ね可能な時間、またはトップコートが接着可能な時間です。

## プライマー

2成分形エポキシ樹脂プライマー  
リムプライマーEP



入目|主 剤6kg/缶  
硬化剤6kg/缶  
塗布量|コンクリート下地  
0.15~kg/m<sup>2</sup>  
金属下地0.15kg/m<sup>2</sup>

混合後の 使用可能 時間	冬期 5~15°C	3時間
	春秋期 15~25°C	3時間
	夏期 25~25°C	2時間
乾燥時間	冬期 5~15°C	4時間
	春秋期 15~25°C	2時間
	夏期 25~25°C	1時間
接着可能 時間	冬期 5~15°C	8時間
	春秋期 15~25°C	8時間
	夏期 25~25°C	6時間
接着可能時間を 越えた場合の処理	研磨の上再塗布します。 セメントを25%配合すること でリコートが可能ですが、乾 燥時間は1.5倍程度になり ます。	

1成分形エポキシ樹脂プライマー  
コスミックプライマーE



入目|14kg/缶  
塗布量|0.15kg/m<sup>2</sup>

使用可能 時間	冬期 5~15°C	—
	春秋期 15~25°C	—
	夏期 25~25°C	—
乾燥時間	冬期 5~15°C	4時間
	春秋期 15~25°C	2時間
	夏期 25~25°C	1.5時間
接着可能 時間	冬期 5~15°C	12時間
	春秋期 15~25°C	12時間
	夏期 25~25°C	12時間
接着可能時間を 越えた場合の処理	研磨の上再塗布します。	

## 1成分形ウレタン防水材 コスミックPRO・ゼロワンH立上り用



入目	18kg/缶 8kg/缶
硬化物密度 (Mg/m <sup>3</sup> )	1.3
ホルムアルデヒド 放散等級区分 及び登録番号	F☆☆☆☆ NUK-F12709

季節	冬期	春秋期	夏期
温度	5~15°C	15~25°C	25~35°C
塗り継ぎ時間	60分程度	30分程度	15分程度
乾燥時間	15~24時間	15~20時間	5~15時間
接着可能時間	7日間	7日間	5日間

## 2成分形アクリルウレタン樹脂トップコート リムコートHS/HUV



混合後の 使用可能時間	冬期 5~15°C	4.0時間
	春秋期 15~25°C	3.0時間
指触乾燥時間	夏期 25~25°C	2.0時間
	冬期 5~15°C	20分
	春秋期 15~25°C	5~10分
初期硬化時間	夏期 25~25°C	5分
	冬期 5~15°C	90~120分
	春秋期 15~25°C	40~90分
解放時間 (歩行可能)	夏期 25~25°C	30~40分
	冬期 5~15°C	24時間
	春秋期 15~25°C	12時間
塗重ね時など接着可能時間を越えた場合の処理	コスミックプライマーEを 塗布します。	

入目|主 剤6kg/缶 硬化剤9kg/缶  
混合比|主剤:硬化剤=2:3(重量比)  
塗布量|0.15kg/m<sup>2</sup>

・HSは艶有り  
・HUVは艶無しが標準

## トップコート色見本(標準色)



グレー-N-60      ライトグレー-N-70      グリーン42-70 H

※特注色は日塗工の色番よりお選びいただけます。ご相談ください。

P.1 リムクイック工法

P.7 リムクイック工法  
工法分類一覽

P.9 リムクイック工法  
長期保証工法

P.13 リムクイック工法  
汎用工法

P.19 通気密着工法  
RC・T・K

P.21 通気緩衝工法  
RC・T・S

P.25 密着工法  
RC・M

P.27 製品情報

P.29 性能一覽  
取り回し商品

P.39 注意事項

P.1 リムクイック工法

P.7 リムクイック工法  
工法分類一覽

P.9 リムクイック工法  
長期保証工法

P.13 リムクイック工法  
汎用工法

P.19 通気密着工法  
RC・T・K

P.21 通気緩衝工法  
RC・T・S

P.25 密着工法  
RC・M

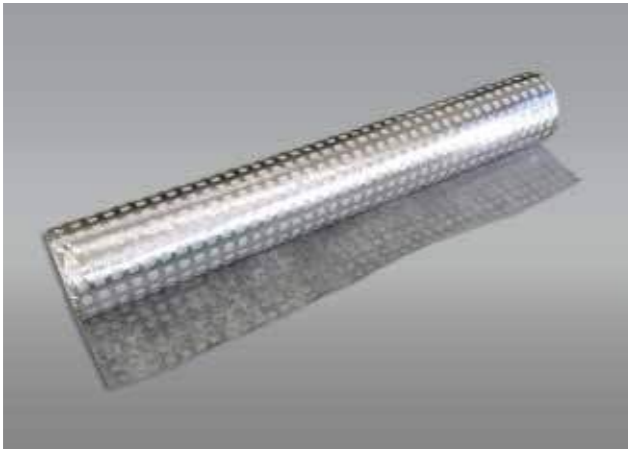
P.27 製品情報

P.29 性能一覽  
取り回し商品

P.39 注意事項



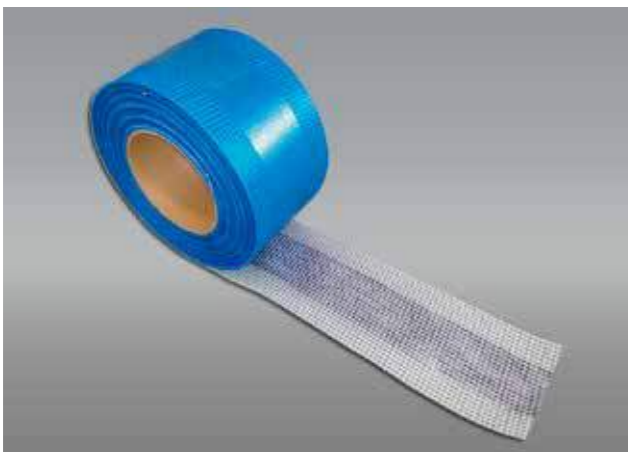
## 製品情報



### リムベントクロス

通気密着工法 防水用密着通気シート  
通気と密着機能を持ち、品質管理用アルミ箔と自着性のある不織布が備わった通気密着シートです。

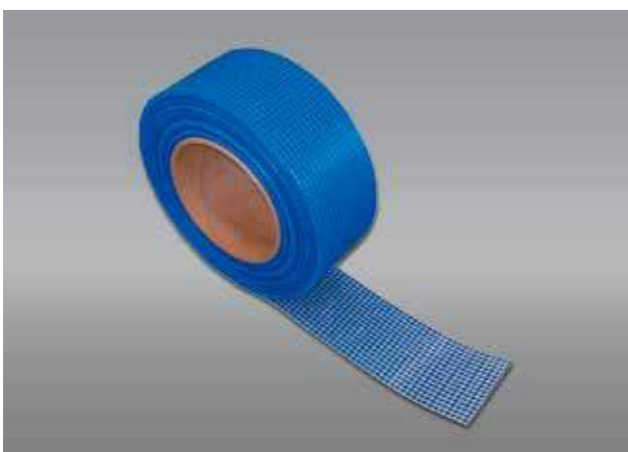
厚み：1.5mm  
荷姿：1m巾×50m巻



### QCテープ

通気密着シート用ジョイントテープ  
粘着タイプです。  
リムベントクロス(開発中)用のジョイント部押さえつけのためのテープです。

材質：ポリエステル  
荷姿：50mm巾×50m巻



### リムベントクロスジョイントテープ

通気密着シート用ジョイントテープ  
粘着タイプです。  
リムベントクロス用のジョイント部押さえつけのためのテープです。

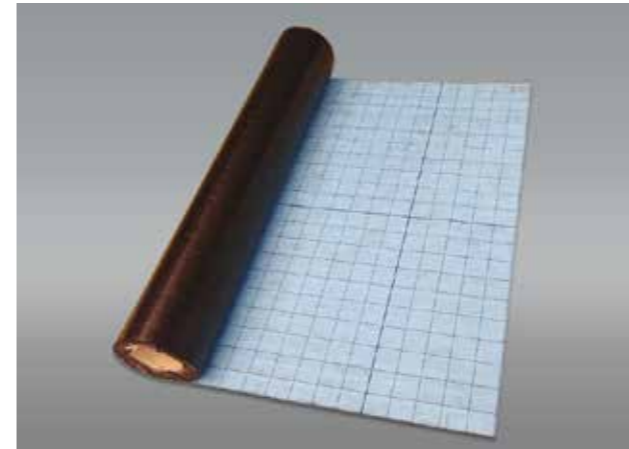
材質：ポリエステル  
荷姿：50mm巾×50m巻



### メジキーパー

押さえコンクリート防水改修工事用  
伸縮目地処理テープ

規格：幅100mm×長さ15m/巻(粘着付きPET フィルム100mm、ブチルテープ90mm、金属板70mm) 離型紙フィルム110mm  
厚み：約1mm  
重量：約2.5kg/巻  
入目：4巻/ケース  
色：グレー



### CAマットSB

通気緩衝工法専用シート  
から構成され、  
表層の特殊フィルムは十分な撥水効果があり、  
施工中の降雨にも影響を受けにくくなります。  
不織布の柔軟性と粘着ブチルの接着力により各種下地になじみやすく、下地追従性、通気性に優れています。

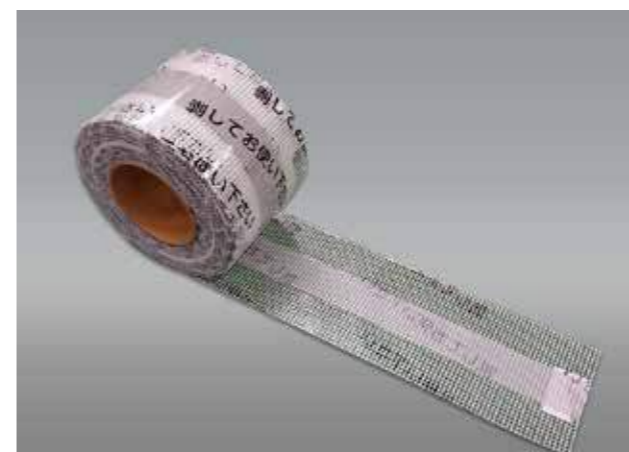
厚み：接着部1.05mm・非接着部0.7mm  
荷姿：1m巾×15m/本



### CA末端テープ

通気緩衝工法用末端処理テープ  
シート末端用、金属部絶縁用。

材質：ブチルゴム  
荷姿：100mm巾×25m/巻



### メッシュジョイントテープ

通気緩衝工法用ジョイントテープ  
CAマットSBのジョイント用テープです。

材質：PETフィルムガラス繊維  
荷姿：100mm巾×50m/巻

# ■リムクイック製品・性能試験表

リムクイック製品 性状							
項目		リムクイック10		リムクイック15		JIS A6021	
分類		高強度系		高強度系		高強度系規格 高伸張形規格	
引張性能	引張強さN/mm <sup>2</sup>	23°C	11	12	10以上	2.3以上	
		-20°C	18	23	10以上	100~300%	
		60°C	7.8	9.4	6.0以上	60%以上	
	破断時の伸び率%	23°C	370	340	200以上	450以上	
		23°C	790	820	700以上	280以上	
		23°C	190	180	120以上	300以上	
破断時のつかみ間の伸び率	-20°C	170	150	100以上	250以上		
	60°C	160	160	100以上	200以上		
	60°C	58	66	30以上	14以上		
引裂性能	引裂強さN/mm						
加熱伸縮性	伸縮率%	-0.2	-0.2	-1.0以上1.0以下	-4.0以上1以下		
劣化処理後の引張性能	引張強さ比%	加熱処理	120	140	80以上	80~150	
		促進暴露処理	98	120	60以上	60~150	
		アルカリ処理	91	110	60以上	60~150	
	破断時の伸び率%	酸処理	98	100	80以上	80~150	
		加熱処理	410	380	180以上	400以上	
		促進暴露処理	350	350	180以上	400以上	
		アルカリ処理	360	390	180以上	400以上	
		酸処理	380	360	180以上	400以上	
		伸び時の劣化性状	加熱処理				
		促進暴露処理					
オゾン処理							
たれ抵抗性能	たれの長さmm	-	-	-	3.0以下		
	しわの発生	-	-	認めない	認めない		
固形分%		主剤:99 硬化剤:96.5		主剤:98 硬化剤:95		表示値±3.0 表示値±3.0	
硬化物密度 Mg/m <sup>3</sup>		1.0		1.0		表示値±0.1 表示値±0.1	
粘度(m.Pa.s/25°C)		主剤 550	硬化剤 610	主剤 600	硬化剤 500		
比重(23/23°C)		1.09	1.03	1.14	1.02		
配合比		100:100(容積比)		100:100(容積比)			
タックフリータイム(秒)		8~18		3~14			
キュアタイム(分)		2~4		2~4			
硬さ(shoreA,D)		89A		91A			
テーパー摩耗指数[H-22](mg/1,000回転)				157			

【用途】  
 リムクイック10:一般屋上、バルコニー等  
 リムクイック15:屋外駐車場・競技場スタンド・高荷重のかかる場所

【リムクイック10および15の物性について】  
 JIS A6021の規格では高強度系の塗膜防水材に該当しますが、高伸張形にも近い物性を示し、双方の特徴を併せ持つ優れた防水材と言えます。

リムクイック工法材料一覧					
製品分類	注文可	製品名	入り目(内訳)	製品種別	備考
スプレー塗膜材	○	リムクイック10	主剤 (200kgドラム 18kg/缶)	2液型超速硬化スプレー材	JIS A 6021
		リムクイック10	硬化剤 (182kgドラム 18kg/缶)	2液型超速硬化スプレー材	JIS A 6021
		リムクイック15	主剤 (210kgドラム 18kg/缶)	2液型超速硬化スプレー材	JIS A 6021
		リムクイック15	硬化剤 (182kgドラム 18kg/缶)	2液型超速硬化スプレー材	JIS A 6021
トナー	○	リムトナー-S グレー	8kg/缶	顔料ペースト材	着色用
塗膜防水材		コスミックPRO・ゼロワンH 立上り用	18kg/セット (主剤6kg/硬化剤12kg)	1成分形ウレタン防水材	立上り用
プライマー	○	リムプライマー-EP 駐車場用	12kg/セット (主剤6kg/硬化剤6kg)	2液エポキシ変性ウレタンプライマー	コンクリート・金属下地用(溶剤系)
	○	リムプライマー-EP 硬化促進剤	1kg/缶	-	リムプライマー-EP専用硬化促進剤
トップコート	○	リムコートHS	15kg/セット (主剤6kg/硬化剤9kg)	アクリルウレタン樹脂 2液常乾塗料	光沢仕上げ ダレにくい・第二石油類
		リムコートHUV	15kg/セット (主剤6kg/硬化剤9kg)	アクリルウレタン樹脂 2液常乾塗料	高耐久遮熱タイプ 非光沢仕上げ ダレにくい・第二石油類
接着剤シーリング材	○	リムシール&ボンド	主剤 9kg/缶 300g/パック 硬化剤 13.5kg/缶 900g/缶	2成分形ポリウレタ系接着剤・シーリング材	JIS A 6021
副資材		CAマットSB	幅1000mm×長さ15m/本	粘着ブチルゴムシート	自着層付通気緩衝シート
		CA端末テープ	幅100mm×25m/巻	ブチル系粘着テープ	シート端末用テープ
		メッシュジョイントテープ	幅100mm×50m/巻	粘着層付き ガラスクロステープ	通気緩衝工法用ジョイントテープ (長手・短手共)
	○	リムベントクロス	幅1000mm×長さ50m/巻	アルミ箔通気層付き 弱粘着クロステープ	通気密着工法用品質管理シート
	○	QCテープ	幅80mm×長さ15m/巻	アルミ箔付き 弱粘着クロステープ	品質管理テープ
	○	リムベントクロス ジョイントテープW50	幅50mm×長さ50m/巻	弱粘着ポリエステルテープ	リムベントクロス用ジョイントテープ
	○	リムベントクロス ジョイントテープW100	幅100mm×長さ50m/巻	弱粘着ポリエステルテープ	リムベントクロス用ジョイントテープ
	○	メジキパー-A	幅100mm×長さ15m/巻 (4個set/箱)	押さえコンクリート 防水改修工事用 伸縮目地処理テープ	通気密着工法用品目地処理テープ

製品情報

P.27

性能一覧

P.29

注意事項

P.39

リムクイック工法

リムクイック工法

長期保証工法

汎用工法

通気密着工法

通気緩衝工法

密着工法

製品情報

性能一覧

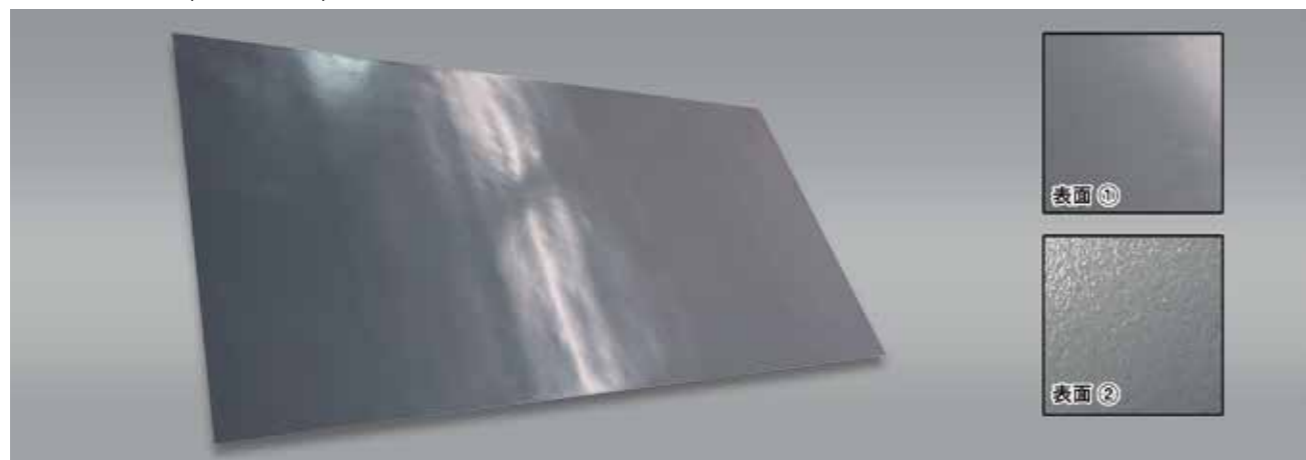
注意事項

P.39

## ■リムクイック取り付け関連製品

### リムシート(フラット)

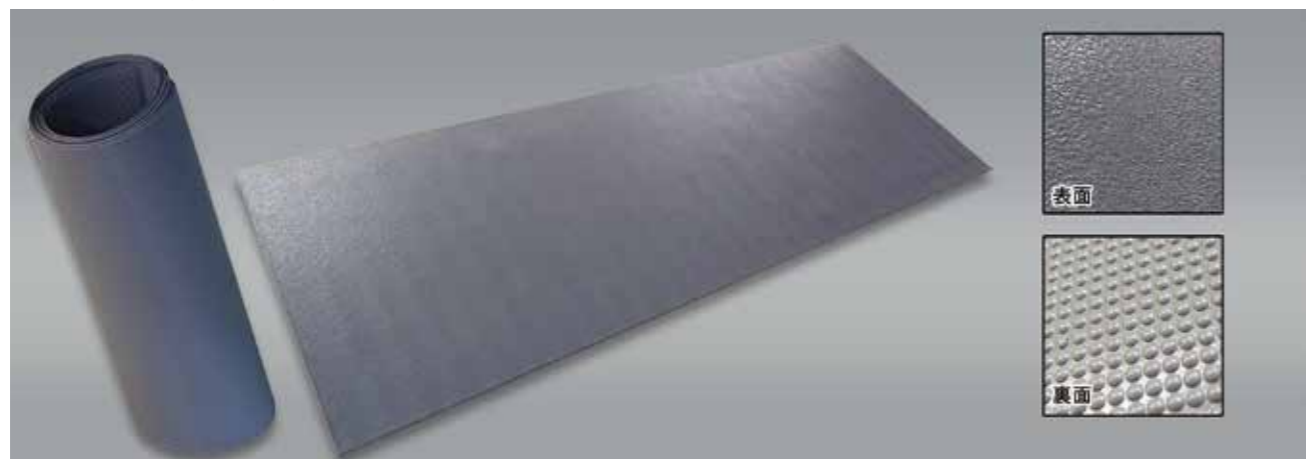
材質(リムクイック10or15)の変更、厚みの変更等、特注可能、応相談  
 ※リムシートの性状は、33ページにあるリムクイック10または15の性状と同等です。



TM\_F1020G10R10:リムシートフラット/ 1m× 2m×t1  
 TM\_F1224G10R10:リムシートフラット/1.2m×2.4m×t1 ■1枚からご注文可能 基本納期1週間 ※特注可能、応相談

### リムシート(脚付)

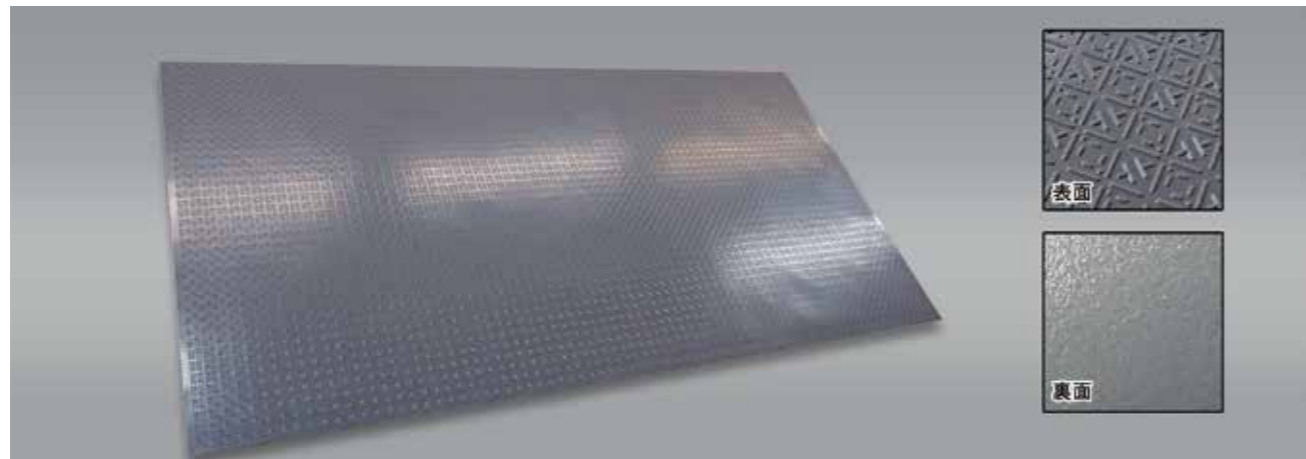
※特許製品(接着剤が脚の空間にて硬化するため、上に乗って歩行しながら貼付けができます)



TM\_A1020G15R10:リムシート脚付/ 1m× 2m×t1.5  
 TM\_A1224G15R10:リムシート脚付/1.2m×2.4m×t1.5 ■1枚からご注文可能 基本納期1週間 ※特注可能、応相談

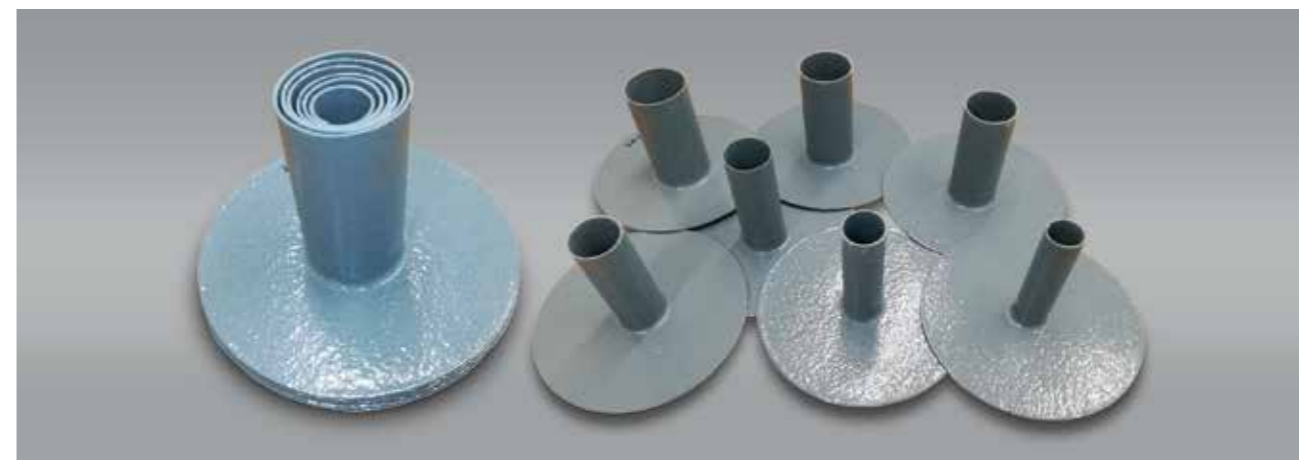
### リムシート(パターン)

※表面に水が留まりにくい、滑り止めの模様付です



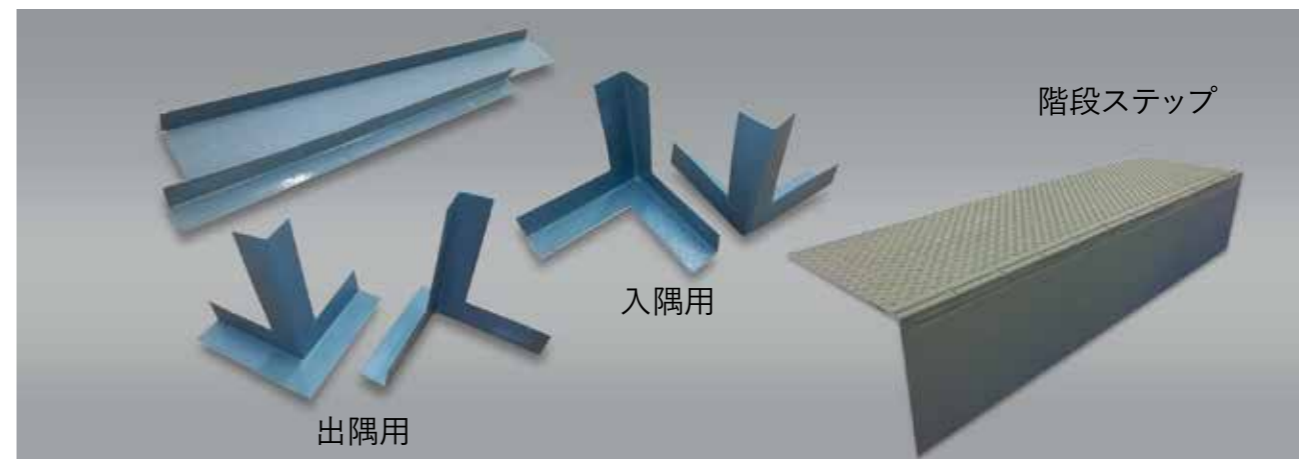
TM\_P1020G15R10:リムシートパターン/ 1m× 2m×t1.5  
 ■1枚からご注文可能 基本納期1週間 ※特注可能、応相談

### リムドレン ※特許製品(ドレンの排水能力を極力下げずにすむように口径が7種類あります)



縦引きドレン・全7種  
 対応口径 φ45、55、65、68、75、85、95mm 高さ 200mm×φ300mm

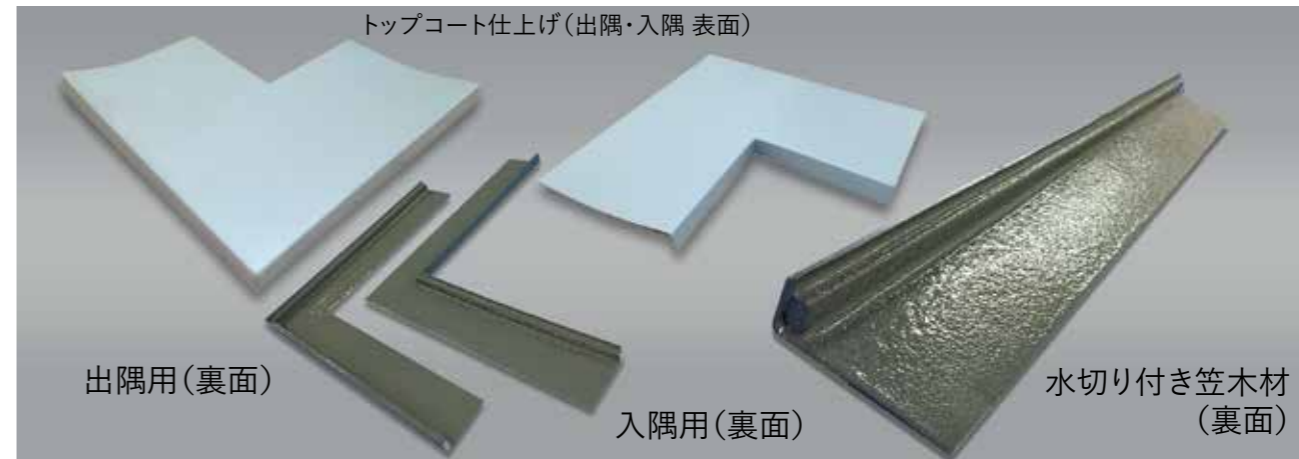
### 見切り材・リムアングル・階段ステップ



アングル材 基本サイズ  
 幅 50mm×高さ 50mm×長さ 2000mm 厚さ 1.0、1.5、2.0mm  
 幅 100mm×高さ 60mm×長さ 2000mm 厚さ 1.0、1.5、2.0mm  
 階段ステップ 基本サイズ  
 幅 330mm×長さ 970mm 厚さ 2.5mm  
 幅 330mm×長さ 1450mm 厚さ 2.5mm

※他サイズは特注にて対応可能です。

### リム笠木材



Aシート・Bシート 重ね合わせジョイント結合による笠木材  
 ストレートタイプ 笠木シート 幅 400mm×高さ 40mm×長さ 2000mm 厚さ 1.0、1.5、2.0mm  
 笠木出隅・入隅シート 幅 400mm×高さ 40mm×長さ 400mm 厚さ 1.0、1.5、2.0mm

## ■リムクイック取り合い関連製品 シーリング&接着剤

2成分形ポリウレア系接着剤・シーリング材

### リムシール&ボンド



項目				JIS A 6021 試験結果
引張性能	引張強さ	N/mm <sup>2</sup>	試験時温度 23°C	6.3
			試験時温度 -20°C	12
			試験時温度 60°C	5.5
	破断時の 伸び率	%	試験時温度 23°C	500
			試験時温度 23°C	530
	破断時の つかみ間の 伸び率	%	試験時温度 23°C	240
試験時温度 -20°C			250	
試験時温度 60°C			220	
引裂性能	引裂強さ	N/mm		29
加熱伸縮性能	伸縮率	%		-0.3
硬化物密度		Mg/m <sup>3</sup>		1.6

SH\_RBset\_N60 :リムシール&ボンド グレー(N-60)(1.2kgセット)  
 SH\_RBset\_N85 :リムシール&ボンド ライトグレー(N-85)(1.2kgセット)  
 SH\_RBset\_2290D:リムシール&ボンド アイボリー(22-90D)(1.2kgセット)

■1個からご注文可能 基本納期1週間 ※特注色可能、応相談

1成分形ポリウレタン系速乾型シーリング材兼リムシート用接着剤

### ONEDAYシーラント



リムシートの貼付け・シール用に開発した1液タイプのウレタンシーリング材(接着剤)です。深度硬化速度に優れ、施工後、約3時間(23°C)の短時間でトップコート(保護材)仕上げが可能です。

NI\_TAMQ\_G320:ONEDAYシーラントQuickNBグレー 320ml

■1箱(10本入り)からご注文可能 基本納期1週間

項目			JIS A 1439 試験結果
硬化物性	硬度 (ダンベル状、5秒値)	ShoreA	25
	60%引張強度	N/mm <sup>2</sup>	0.25
	最大引張強度	N/mm <sup>2</sup>	0.50
	破断時伸び	%	250

ONEDAY シーラント QUICK NB	指触乾燥 時間(分)	恒温室(23°C・50%RH)						
		硬化深度(mm)						
夏タイプ	70	0.20	0.50	1.10	2.60	4.55	7.35	9.30
春・秋タイプ	60	0.30	0.75	1.40	2.70	4.50	7.65	9.25
冬タイプ	50	0.45	1.00	1.45	2.65	4.60	7.40	9.50
ウレタン速乾系他社A	30	1.10	2.10	2.40	3.40	4.80	6.40	7.95

ONEDAY シーラント QUICK NB	指触乾燥 時間(分)	恒温器(35°C)						
		硬化深度(mm)						
夏タイプ	95	-	0.15	0.65	2.30	3.80	6.10	7.80
春・秋タイプ	70	0.25	0.65	1.10	2.65	3.95	6.10	8.00
冬タイプ	60	0.40	0.90	1.35	2.90	3.85	6.25	8.10
ウレタン速乾系他社A	20	1.20	1.80	2.05	3.00	4.10	5.60	7.00

ONEDAY シーラント QUICK NB	指触乾燥 時間(分)	冷蔵庫(5°C)						
		硬化深度(mm)						
夏タイプ	100	-	0.25	0.40	0.75	2.35	4.50	6.40
春・秋タイプ	90	0.15	0.25	0.50	1.35	2.80	4.80	6.60
冬タイプ	70	0.20	0.25	0.85	1.45	3.20	4.90	6.55
ウレタン速乾系他社A	40	-	0.20	0.30	1.35	3.35	4.80	5.75

## ■リムクイック・リムシート関連 社内性能試験

### 1. リムクイック、リムシートの押抜き性能試験

リムクイック工法、リムシート工法はプライマー、接着剤の性能と相まって総合的に評価されます。自社開発製品、他を活用しながら性能確認を実施しております。



はく落防止の押抜き試験の実施:

東日本・中日本・西日本高速道路株式会社(NEXCO)の規格、「構造物施工管理要領」に基づき、はく落防止性能の照査項目である、基準値の1.5kN以上を満たすかどうか社内試験を実施。



No.	試験体	厚さ(mm)	プライマー	接着剤	継手	変位(mm)	強度(kN)
9	リムクイック#10直吹き	2.0	K材	なし	無	51.5	<b>2.27</b>
11	リムクイック#15直吹き	2.0	K材	なし	無	50.1	<b>2.42</b>
4-1	リムシート#15	2.0	K材	リムボンド	無	51.3	<b>3.16</b>
4-3	リムシート#15	2.0	K材	リムボンド	2点	51.6	<b>2.85</b>
4-6	リムシート#15	2.0	K材	リムボンド	3点	51.2	<b>2.59</b>

リムクイック、リムシート共に規格基準をクリアーできる性能を有していることを確認。

リムクイック工法  
P.1

リムクイック工法  
工法分類一覽  
P.7

長期保証工法  
リムクイック工法  
P.9

汎用工法  
リムクイック工法  
P.13

通気密着工法  
RC・T・K  
納まり図  
P.19

通気緩衝工法  
RC・T・S  
納まり図  
P.21

密着工法  
RC・M  
納まり図  
P.25

製品情報  
P.27

性能一覽  
取り合い商品  
P.29

注意事項  
P.39

リムクイック工法  
P.1

リムクイック工法  
工法分類一覽  
P.7

長期保証工法  
リムクイック工法  
P.9

汎用工法  
リムクイック工法  
P.13

通気密着工法  
RC・T・K  
納まり図  
P.19

通気緩衝工法  
RC・T・S  
納まり図  
P.21

密着工法  
RC・M  
納まり図  
P.25

製品情報  
P.27

性能一覽  
取り合い商品  
P.29

注意事項  
P.39

	<p>リムフック工法</p>	
P.1		
	<p>リムフック工法</p>	
	<p>工法分類一覧</p>	
P.7		
	<p>長期保証工法</p>	
P.9		
	<p>汎用工法</p>	
P.13		
	<p>通気密着工法</p>	
P.19		
	<p>通気緩衝工法</p>	
P.21		
	<p>密着工法</p>	
P.25		
	<p>製品情報</p>	
P.27		
	<p>性能一覧</p>	
P.29		
	<p>注意事項</p>	
P.39		

## ■注意事項

### ■防水施工条件【新築】

信頼性の高い防水層を設置するため、防水施工の前に以下の項目について条件が満たされていることをご確認ください。

- (1) 下地の強度が十分であること。
- 現場打ちコンクリートは設計基準強度を満たしていること。
  - 防水層に悪影響を及ぼさないように配筋上の配慮や調合設計上の工夫、ならびに打設後の養生等の施工管理に注意することでひび割れの発生を少なくし、分散させる。
  - 降雨中のコンクリート打設等で強度が著しく低下している場合は、ハツリ撤去の上コンクリートを打ち直す等の処置にて強度を復旧させる。
- (2) 下地の乾燥が十分であること。
- 目視にて表面が白く乾燥していることを確認する。一般的に普通コンクリートで夏季3週間・冬季4週間程度の乾燥養生期間を目安とするが、下地構成（デッキプレートなどの片面乾燥や吸水性の高い下地等）や天候によって大きく左右されるため、防水層の施工に先立ち以下のような方法で十分に乾燥していることを確認する。
    - 高周波静電容量式水分計を使用した測定。
    - 不透湿シートで床下地表面全体を覆い周囲をガムテープ等の張付けで密封状態とし、翌日の結露水の有無を確認する。
- (3) 表面が平滑であること。
- 平表面は金ゴテ押えで平滑とする。また、施工前に床研削機（ポリッシャー等）を用いて全面に研磨を行う。
  - 浮き・表面剥離・レイタンス等の脆弱部および鉄筋・番線等の突起物は除去する。
  - ジャンカ・気泡・あばた・目違い・段差・砂すじ等の表面不具合に対する処置を施す。とくにポリウレア樹脂系超速硬化スプレーシステムの吹付け面は仕上り（ピンホール発生等）に影響するため、凹凸や段差を無くす。
  - 立上りも平場と同様に平滑とし、凹凸や不具合も平場と同様の処置を施す。また水切りを良くし、雨仕舞いの納りをよく検討しておく。
  - ポリマーセメント系モルタルを使用する場合は、プライマーの塗布やウレタン塗膜の硬化収縮による破壊・剥離に耐え得るよう、高い接着強度と圧縮強度また耐溶剤性を有する材料を使用するか、コスミック PRO・ゼロワン H 立上り用の下塗り処理を行う。

- (4) できるだけ速やかに排水させるための処置を施すこと。
- 水勾配は1/50 以上とする。
  - ルーフドレンや排水落し口等はスラブ面より低くし、周囲の水はけを良くしながら堅固に設置する。
  - ドレンはアスファルト防水用またはシート防水用のツバが幅広タイプのもを使用し、塗りかけ幅を 100 mm以上確保する。
  - ドレンの排水能力は将来の改修工事を見据えて余裕を持たせた設定が望ましい。またドレン以外にもオーバーフロー管を設置し、ここから雨水が落ちてくことで使用者にドレンの目詰まり等排水機能の低下を知らせる措置が望まれる。
- (5) 下地表面がよく清掃されていること。
- プライマーや接着剤の接着性を阻害させ、また防水層を劣化させるような塵埃・油脂類・鉄錆等は除去する。
- (6) 防水層に支障があるひび割れ・打継ぎに適切な処置が施されていること。
- 防水層に支障が無いひび割れ（概ね 1.0 mm未満）にはウレタン防水材料またはウレタンシーリング材の擦り込みか、ポリウレア樹脂系超速硬化スプレーシステムの増吹きを施す。但しリムベントクロスを張る場合は、この限りでは無い。
  - 防水層に支障があるひび割れ（概ね 1.0 mm以上）や打継ぎには状況に応じてUカット後ウレタンシーリング材を充填するかコスミック PRO・ゼロワン H 立上り用+補強布による処置、あるいはポリウレア樹脂系超速硬化スプレーシステムの増吹きを施す。但しリムベントクロスを張る場合は、この限りでは無い。
  - 誘発目地・化粧目地には予めウレタンシーリング材を充填しておき、状況に応じてコスミック PRO・ゼロワン H 立上り用+補強布による処置、あるいはポリウレア樹脂系超速硬化スプレーシステムの増吹きを施す。但しリムベントクロスを張る場合は、この限りでは無い。

- (7) 入隅および出隅が適切に処理されていること。
- 入隅および立上りの入隅は通りよく、直角とする。また出隅および立上りの出隅は通りよく、R 面または 45 度 /W = 15 ～ 30 mm程度の面取りを施す。
- (8) 設備基礎関連で適切な雨仕舞いができること。
- コンクリート基礎は原則「躯体一体型」とし、防水層の上に載せることは極力避ける。とくに総重量の大きい設備の場合はこれを遵守する。
  - 総重量および容積が大きい大型設備の架台は、将来の改修工事を見据えて再塗布が容易となるような作業空間（H450 mm程度以上、推奨 600 mm程度以上）を確保することが望ましい。
  - 表面は平滑とし、不具合部には適切な処置を施す。また天端は雨水が滞留せず、速やかに排水されるように水平ではなく角度を付けることが望ましい。なお入隅および出隅については(7)と同様とする。
  - アンカー類は原則「先打ち」とし、周囲に幅・深さ 10 mm程度の「盗み」をとっておく。また防水層の巻上げ（天端より H = 15 mm以上）を確保する。
  - 基礎ブロックの下や C チャン（リップ溝形鋼）・H 鋼等と防水層が取合う部分には防振ゴム（t = 5 mm／先端から 10 mm以上の余剰分を確保）を設置する。また防水層の巻上げ（天端より H = 15 mm以上）を確保する。

- (9) 金物関連の取合いで適切な雨仕舞いができること。
- H 型鋼や角形鋼管を垂直に設置する場合はベースプレートで完全に固定し、ボルトにはキャップとウレタンシーリング材充填を施す。
  - 丸カン・手摺支柱足元等は周囲に幅・深さ 10 mm程度の「盗み」をとって、予めシーリング材を充填しておく。また防水層の巻上げ（天端より H = 15 mm以上）を確保する。
  - ウレタン塗膜防水が掛かる部分は目荒し研磨（サンドペーパー# 100 程度またはサンダー掛け）を行い、その後脱脂処理を施す。とくに「溶融亜鉛メッキ」等、十分な接着力を得られない可能性がある金属下地の場合は入念に行う。
- (10) 配管および配線が防水施工に支障が無いこと。
- 防水層上での配管および配線の設置は防水施工の後とするか、または施工に支障が無い段階での工事とする。また将来の改修工事を見据えて、再塗布が可能となるような措置（高さの確保、または吊上げが可能な形状と荷重）をとることが望ましい。
  - 防水層を貫通する配管や配線は可能な限り避けること。止むを得ず設置する場合は防水施工に支障が無い位置とし、スリーブを使用してさらにコスミック PRO・ゼロワン H 立上り用+補強布による補強塗り、またはポリウレア樹脂系超速硬化スプレーによる塗掛けの確保を 100 mm以上（推奨値）行う。なお、スリーブはグラつきが無いように完全に固定する。

- (11) 吹付け施工ができる環境が整っていること。
- ホースの全長（およそ 60 ～ 90 m）に見合った位置にシステム車両と材料（ドラム缶）が設置できる場所を確保する。
  - 仮設足場は屋根の床面から 1,800 mm以上の高さを確保する。
  - 空調設備・換気設備は吹付け施工中は運転を停止し、吸気口等からのポリウレア樹脂系超速硬化スプレーシステムの室内への流入を防止する。

施工条件

### ■各工法施工上および仕上りに関する注意事項

〈共通事項（施工）〉

- ウレタンおよびプライマー・トップコートの施工中、または硬化養生中に降雨・夜露等の水分にさらされる可能性がある場合は施工を控えてください。とくに水系材料は気温によって硬化時間が大きく左右されるため、注意してください。
- 特定化学物質障害予防規則に規定される材料を使用する場合は、同規則に従い特定化学物質作業主任者を選任するなど法令順守をお願いします。
- 下地に応じて適切なプライマーを選定してください。
- 使用する材料は必ず保存期間内のものをご使用ください。
- 材料の扱いに際しては SDS（安全データシート）や PDS（プロダクトデータシート）をよく読み、適切な扱いを行ってください。
- 材料は直射日光や風雨にさらされる場所を避け、冷暗所に貯蔵・保管してください。
- 材料の貯蔵・保管場所へは作業車以外の立ち入りを禁止し、また転倒防止や火気厳禁等の安全対策を講じてください。
- 産業廃棄物（廃材・廃液）は適切に処理してください。
- 外断熱工法の施工や既設防水層に断熱板が設置されている場合、施工現場が湖沼や河川の近くである場合、また夜間の気温が下がる時季は結露が生じることが多くなります。とくにトップコートの「艶引け（乾燥硬化前に水分の影響による現象）」を避けるため、午後からの塗布作業には十分注意してください。
- ポリウレア樹脂系超速硬化スプレーシステムの施工前には、スプレーシステム内（シリンダーポンプおよびホース）に残っている異なる種類の材料や古い材料の入替えを必ず行ってください。
- ポリウレア樹脂系超速硬化スプレーシステムの施工前には必ず飛散対策養生を施してください。
- ポリウレア樹脂系超速硬化スプレーシステムの施工前には必ず設定温度まで加温して適正な粘度に調整してください。
- ポリウレア樹脂系超速硬化スプレーシステムの施工前には必ず一斗缶またはペール缶等の中に試し吹きを行い「適正な吹付け圧力である」こと、「液漏れ・硬化不良が無い」ことを確認し、吹付け施工中は A 剤と B 剤の吹付け圧力差が 1MPa 以内であることを確認してください。
- ポリウレア樹脂系超速硬化スプレーシステムは希釈せず、そのままご使用ください。
- ポリウレア樹脂系超速硬化スプレーシステムおよびコスミック PRO・ゼロワン H 立上り用の塗布後に降雨・降雪または夜露等の水気にさらされた場合や、塗継ぎ・増塗りおよびトップコートの塗布が翌日以降になる場合は、次工程で塗布する材料との接着力低下を防止するために表面を良く清掃し、コスミックプライマー E の塗布を行ってください。
- 防毒マスクの着用や換気装置の設置を行い、十分な安全対策を講じてください。
- 2成分形タイプの製品は、必ず主剤と硬化剤の組合せを守って下さい。
- 2成分形タイプの材料攪拌は、既定の配合比を守り攪拌機で行ってください。
- コスミック PRO・ゼロワン H 立上り用を希釈する場合は、専用の希釈剤を規定量を守ってご使用ください。
- 冬季などでコスミック PRO・ゼロワン H 立上り用の硬化を早める場合には、必ず専用の硬化促進剤を規定量を守ってご使用ください。
- 脱気装置を設置する際は、原則水上に設置してください。また脱気装置は金属製であるため、避雷導線は 1、5 m以上離して設置してください。
- アンカー類の穿孔は所定の穿孔径・穿孔深さを守り、垂直になるよう行ってください。また孔内の切粉は必ず除去してください。
- ハードエッジドライブの施工時に過剰な締め付けをしないでください。必要以上に締め付けるとネジの折れや頭飛びをする恐れがあります。またインパクトドライバの最大トルク値は、ハードエッジドライブのねじり破断トルク値よりはるかに高いため“強力型”は用いず、トルク値には十分注意しながら低回転でゆくりと施工してください。

〈共通事項（仕上り）〉

- ポリウレア樹脂系超速硬化スプレーシステムは「エンボス風仕上げ」となります。
- 下地の不陸の影響により、仕上りが平滑にならない場合があります。
- 吹付け直後に短時間で指触乾燥・硬化するポリウレア樹脂系超速硬化スプレーシステムは、下地凹凸やシートジョイントまたテープ類の端部等の形状をトレースしやすい傾向にあります。
- 既設防水が外断熱工法の場合は熱による影響を受け通常より劣化が助長されるため、高反射系のトップコートを選定してください。
- 高反射系のトップコートは太陽光を効率よく反射させるため、ルーフバルコニー等の居室付近での塗布は避けてください。
- 標準の仕上り状況はエンボス風ですが、雨又は降雪の際は滑りやすいので防滑対策として防滑用トップコートを使用してください。但し状況により、防滑性を保証するものではなく、滑ることもありますのでご注意ください。※当社オリジナルの防滑性リムシートをご使用ください。
- 粗面仕上は表面に微細な凹凸ができるためホコリが滞留しやすくなります。
- 現場施工の特性上トップコートの仕上りは必ずしも均一になりません。
- 各種トップコートの艶消しタイプは製品特性や施工方法の影響により艶に差が生じる場合があります。
- 各種トップコートの「艶有り」「艶消し」は当社独自の呼称です。

〈通気密着工法〉

- リムベントクロスは強く引っ張ったり、無理に曲げないでください。
- シートジョイントの隙間は 2 mm以内にしてください。
- 隣り合うシートの短手ジョイントを一直線状に揃えると、ウレタン塗膜防水材塗布後に破断することがありますので、300 mm以上ずらしてください。
- リムベントクロス張付け後は、浮きや皺を発生させないために必ず転圧ローラーで充分転圧を行ってください。
- リムベントクロス上はスパイクシューズでの歩行を避けてください。シートが破れる恐れがあります。
- リムベントクロスの張付け後は、コスミック PRO・ゼロワン H 立上り用を塗布して雨仕舞を行ってください。雨仕舞いを行わず雨や夜露の影響を受けた場合、次工程の乾燥養生に時間がかかったり、膨れや剥離の原因となります。

	<p>リムフック工法</p>	
P.1		
	<p>リムフック工法</p>	
	<p>工法分類一覧</p>	
P.7		
	<p>長期保証工法</p>	
P.9		
	<p>汎用工法</p>	
P.13		
	<p>通気密着工法</p>	
P.19		
	<p>通気緩衝工法</p>	
P.21		
	<p>密着工法</p>	
P.25		
	<p>製品情報</p>	
P.27		
	<p>取性能一覧</p>	
P.29		
	<p>注意事項</p>	
P.39		

	リムフック工法	
P.1	工法分類一覧	
	工法分類一覧	
P.7	長期保証工法	
	長期保証工法	
P.9	汎用工法	
	汎用工法	
P.13	RC・TK	
	RC・TK	
P.19	RC・TS	
	RC・TS	
P.21	RC・M	
	RC・M	
P.25	製品情報	
	製品情報	
P.27	性能一覧	
	性能一覧	
P.29	注意事項	
	注意事項	
P.39		

## ■防水施工条件【改修】

改修工事の場合は既設防水層の種別や劣化状況、および撤去の有無、また新設の防水仕様の種別によって下地処理の内容が異なります。

以下の項目をご参考に、現場に即した適切な処置を行ってください。

- 下地の乾燥が十分であること。
  - 新設する防水層に支障が生じないよう、高圧水洗浄後は十分に乾燥させる。また保護仕様の場合、押えコンクリート内に残留水分があるため冬季の施工ではとくに注意し、可能な場合は洗浄に替えて機械研削を行う。
- コンクリートおよびモルタル部が健全であること。
  - 下地面は平滑にする。
  - 浮き・表面剥離・レイタンス等の脆弱部および鉄筋・番線等の突起物は除去する。
  - ジャンカ・気泡・あばた・目違い・段差・砂すじ等の表面不具合に対する処置を施す。
    - とくにポリウレア樹脂系超速硬化スプレーシステムの吹付け面は仕上り（ピンホールの発生等）に影響するため、凹凸や段差を無くす。
  - 露筋・爆裂は脆弱部を撤去し、鉄筋の錆を落した後断面修復材で処置を施す。
  - 立上りも平場と同様に平滑にし、凹凸や不具合も平場と同様の処置を施す。また水切りを良くし、雨仕舞いの納りをよく検討しておく。
  - 断面修復等の処置を行った後の仕上げには、プライマーの塗布やウレタン塗膜の硬化収縮による破壊・剥離に耐え得るよう、高い接着強度と圧縮強度、また耐溶剤性を有する材料を使用するか、コスミック PRO・ゼロワン H 立上り用の下塗り処理を行う。

- 排水勾配は排水に支障がない程度とする。
  - 水勾配は概ね 1/100 以上とする。
  - 既設のルーフトレンや排水落水口等の周囲の水はけが著しく悪い場合は、周囲のハツリ撤去や納りの検討を行って勾配修正を施す。
  - 改修用ドレンはウレタン塗膜防水用を使用し、塗りかけ幅を 100 mm以上確保する。また設置に際しては排水面積計算を行い、場合によってはオーバフロー管の設置や既設ドレンの継続使用を行う。
  - 防水押えコンクリートにオーバーレイする場合は、既存防水層上に死水があるので、ドレイン部では死水排水対策を施す。
- 下地表面がよく清掃されていること。
  - プライマーや接着剤の接着性を阻害させ、また防水層を劣化させるような塵埃・油脂類・鉄錆等は除去する。
  - ドレン付近に堆積した泥土やゴミ、繁茂しているコケ・植物等も完全に除去する。

- 防水層に支障があるひび割れ・打継ぎに適切な処置が施されていること。
  - 防水層に支障が無いひび割れ（概ね 1.0 mm未満）にはウレタン防水材料またはウレタンシーリング材の擦り込みか、ポリウレア樹脂系超速硬化スプレーシステムの増吹きを施す。但しリムベントクロスを張る場合は、この限りでは無い。
  - 防水層に支障があるひび割れ（概ね 1.0 mm以上）や打継ぎには状況に応じてUカット後ウレタンシーリング材を充填するかコスミック PRO・ゼロワン H 立上り用等による処置、あるいはポリウレア樹脂系超速硬化スプレーシステムの増吹きを施す。但しリムベントクロスを張る場合は、この限りでは無い。
  - 誘発目地・化粧目地には予めウレタンシーリング材を充填しておき、状況に応じてコスミック PRO・ゼロワン H 立上り用+補強布による処置、あるいはポリウレア樹脂系超速硬化スプレーシステムの増吹きを施す。但しリムベントクロスを張る場合は、この限りでは無い。

- 入隅および出隅が適切に処理されていること。
  - 入隅および立上りの入隅は通りよく、直角とする。また出隅および立上りの出隅は通りよく、R 面または 45 度／W = 15 ～ 30 mm 程度の面取りを施す。コンクリート基礎廻りで適切な雨仕舞いができること。
  - 架台の下部に隙間がある場合はシーリング材の充填を施す。
  - 既設の防振ゴムが著しく劣化している場合は取替えを行うか、余剰分を切除した後入隅にシーリング材を打ち、コンクリート基礎ごと新規ウレタン塗膜層で巻き込む。また挙動部はコスミック PRO・ゼロワン H 立上り用+補強布による処置、あるいはポリウレア樹脂系超速硬化スプレーシステムの増吹き等の処置を行う。

- 金属類の取合いが適切に処置されていること。
  - 防水層と取合う金属部分は表面の汚れ・油脂類・錆・塗料を除去し、プライマーの接着が阻害されないようにする。
  - 発錆や腐食が進行し、著しく劣化したものは交換をする。
  - 固定不良が無いことを確認する。また挙動が頻繁あるいは大きいと思われる箇所については、絶縁処理もしくはコスミック PRO・ゼロワン H 立上り用+絶縁テープ等の処置を行う。
  - ウレタン塗膜防水が掛かる部分は目荒し研磨（サンドペーパー# 100 程度またはサンダー掛け）を行い、その後脱脂処理を施す。とくに「溶融亜鉛メッキ」等、十分な接着力を得られない可能性がある金属下地の場合は入念に行う。

- シーリング材の設置が適切にされていること。
  - 劣化が進行しているシーリング材は撤去し、打替えを行う。
  - 防水層に支障を生じさせないように、シーリング材の種別選択は適切に行うこと。
  - 防水層端末・金物の取合い等、必要に応じて適切にシーリング材が設置されていること。
- 保護層の伸縮目地に適切な処置がされていること。

〈メジキーパー〉

- 既設目地部はキャップ及びスポンジ部分全て撤去し、目地部をメジキーパーで覆う。
  - 100 ～ 150 m<sup>2</sup>毎に脱気筒を設け既存防水上の蒸気圧を排出し新規防水層の膨張を抑制します。その後充填材またはシーリング材で平滑に仕上げる。
- 吹付け施工ができる環境が整っていること。
    - ホースの全長（およそ 60 ～ 90 m）に見合った位置にシステム車両と材料（ドラム缶）が設置できる場所を確保する。
    - 仮設足場は屋根の床面から 1,800 mm以上の高さを確保する。
    - 空調設備・換気設備は吹付け施工中は運転を停止し、吸気口等からのポリウレア樹脂系超速硬化スプレーシステムの室内への流入を防止する。

### ■各工法施工上および仕上りに関する注意事項

〈共通事項（施工）〉

- ウレタンおよびプライマー・トップコートの施工中、または硬化養生中に降雨・夜露等の水分にさらされる可能性がある場合は施工を控えてください。とくに水系材料は気温によって硬化時間が大きく左右されるため、注意してください。
- 特定化学物質障害予防規則に規定される材料を使用する場合は、同規則に従い特定化学物質作業主任者を選任するなど法令順守をお願いします。
- 下地に応じて適切なプライマーを選定してください。
- 使用する材料は必ず保存期間内のものをご使用ください。
- 材料の扱いに際しては SDS（安全データシート）や PDS（プロダクトデータシート）をよく読み、適切な扱いを行ってください。
- 材料は直射日光や風雨にさらされる場所を避け、冷暗所に貯蔵・保管してください。
- 材料の貯蔵・保管場所へは作業車以外の立ち入りを禁止し、また転倒防止や火気厳禁等の安全対策を講じてください。
- 産業廃棄物（廃材・廃液）は適切に処理してください。
- 外断熱工法の施工や既設防水層に断熱板が設置されている場合、施工現場が湖沼や河川の近くである場合、また夜間の気温が下がる時季は結露が生じることが多くなります。とくにトップコートの「艶引け（乾燥硬化前に水分の影響による現象）」を避けるため、午後からの塗布作業には十分注意してください。
- ポリウレア樹脂系超速硬化スプレーシステムの施工前には、スプレーシステム内（シリンダーポンプおよびホース）に残っている異なる種類の材料や古い材料の入替えを必ず行ってください。
- ポリウレア樹脂系超速硬化スプレーシステムの施工前には必ず飛散対策養生を施してください。
- ポリウレア樹脂系超速硬化スプレーシステムの施工前には必ず設定温度まで加温して適正な粘度に調整してください。
- ポリウレア樹脂系超速硬化スプレーシステムの施工前には必ず一斗缶またはペール缶等の中に試し吹きを行い「適正な吹付け圧力である」こと、「液漏れ・硬化不良が無い」ことを確認し、吹付け施工中は A 剤と B 剤の吹付け圧力差が 1MPa 以内であることを確認してください。
- ポリウレア樹脂系超速硬化スプレーシステムは希釈せず、そのままでご使用ください。
- ポリウレア樹脂系超速硬化スプレーシステムの吹付け施工後は、当日のうちにトップコートを塗布するようにしてください。
- ポリウレア樹脂系超速硬化スプレーシステムおよびコスミック PRO・ゼロワン H 立上り用の塗布後に降雨・降雪または夜露等の水気にさらされた場合や、塗継ぎ・増塗りおよびトップコートの塗布が翌日以降になる場合は、次工程で塗布する材料との接着力低下を防止するために表面を良く清掃し、コスミックプライマー E の塗布を行ってください。
- 防毒マスクの着用や換気装置の設置を行い、十分な安全対策を講じてください。
- 2 成分形タイプの製品は、必ず主剤と硬化剤の組合せを守ってください。
- 2 成分形タイプの材料攪拌は、既定の配合比を守り攪拌機で行ってください。
- コスミック PRO・ゼロワン H 立上り用を希釈する場合は、専用の希釈剤を規定量を守ってご使用ください。
- 冬季などでコスミック PRO・ゼロワン H 立上り用の硬化を早める場合には、必ず専用の硬化促進剤を規定量を守ってご使用ください。
- 脱気装置を設置する際は、原則水上に設置してください。また脱気装置は金属製であるため、避雷導線は 1.5 m 以上離して設置してください。
- アンカー類の穿孔は所定の穿孔径・穿孔深さを守り、垂直になるよう行ってください。また孔内の切粉は必ず除去してください。
- ハードエッジドライブの施工時に過剰な締め付けをしないでください。必要以上に締め付けるとネジの折れや頭飛びをする恐れがあります。またインパクトドライバの最大トルク値は、ハードエッジドライブのねじり破断トルク値よりはるかに高いため“強力型”は用いず、トルク値には十分注意しながら低回転でゆっくりと施工してください。

〈共通事項（仕上り）〉

- ポリウレア樹脂系超速硬化スプレーシステムは「エンボス風仕上げ」となります。
- 下地の不陸の影響により、仕上りが平滑にならない場合があります。
- 吹付け直後に短時間で指触乾燥・硬化するポリウレア樹脂系超速硬化スプレーシステムは、下地凹凸やシートジョイントまたテープ類の端部等の形状をトレースしやすい傾向にあります。
- 既設防水が外断熱工法の場合は熱による影響を受け通常より劣化が助長されるため、高反射系のトップコートを選定してください。
- 高反射系のトップコートは太陽光を効率よく反射させるため、ルーファルコナー等の居室付近での塗布は避けてください。
- 標準の仕上り状況はエンボス風ですが、雨又は降雪の際は滑りやすいので防滑対策として防滑用トップコートを使用してください。但し状況により、防滑性を保証するのではなく、滑ることもありますのでご注意ください。※当社オリジナルの防滑性リムシートをご使用ください。
- 粗面仕上は表面に微細な凹凸ができるためホコリが滞留しやすくなります。
- 現場施工の特性上トップコートの仕上りは必ずしも均一になりません。
- 各種トップコートの艶消しタイプは製品特性や施工方法の影響により艶に差が生じる場合があります。
- 各種トップコートの「艶有り」「艶消し」は当社独自の呼称です。

〈通気密着工法〉

- リムベントクロスは強く引っ張ったり、無理に曲げないでください。
- シートジョイントの隙間は 2 mm 以内にしてください。
- 隣り合うシートの短手ジョイントを一直線状に揃えと、ウレタン塗膜防水材塗布後に破断することがありますので、300 mm 以上ずらしてください。
- リムベントクロス張付け後は、浮きや皺を発生させないために必ず転圧ローラーで充分転圧を行ってください。
- リムベントクロス上はスパイクシューズでの歩行を避けてください。シートが破れる恐れがあります。
- リムベントクロスの張付け後は、コスミック PRO・ゼロワン H 立上り用を塗布して雨仕舞を行ってください。雨仕舞いを行わず雨や夜露の影響を受けた場合、次工程の乾燥養生に時間がかかったり、膨れや剥離の原因となります。

	リムフック工法	
P.1	工法分類一覧	
	工法分類一覧	
P.7	長期保証工法	
	長期保証工法	
P.9	汎用工法	
	汎用工法	
P.13	RC・TK	
	RC・TK	
P.19	RC・TS	
	RC・TS	
P.21	RC・M	
	RC・M	
P.25	製品情報	
	製品情報	
P.27	性能一覧	
	性能一覧	
P.29	注意事項	
	注意事項	
P.39		